

マークをクリックするとそのページを見ることができます



発生動向総覧
P.2-3

<48週> 水痘の定点当たり報告数が例年に比べかなり多くなっている / その他最新動向



注目すべき感染症
P.4

<腸管出血性大腸菌感染症> 第48週の報告患者総数は33



病原体情報
P.5

インフルエンザウイルス分離・検出報告 / 感染性胃腸炎 - SRSV
およびロタウイルス検出報告



速報
P.6

ガールスカウト夏季キャンプにおける腸管出血性大腸菌O157:H7
の集団発生事例



海外感染症情報
P.7-8

ポリオの流行 - ドミニカ共和国とハイチ / ウガンダでのエボラ出血
熱 - 更新 / 他



感染症の話
P.9-11

サルモネラ感染症
サルモネラはわが国でここ数年常に腸炎
ビブリオに並ぶ代表的食中毒原因菌とな
っている



読者のコーナー
P.12



グラフ総覧(48週)
P.13-19

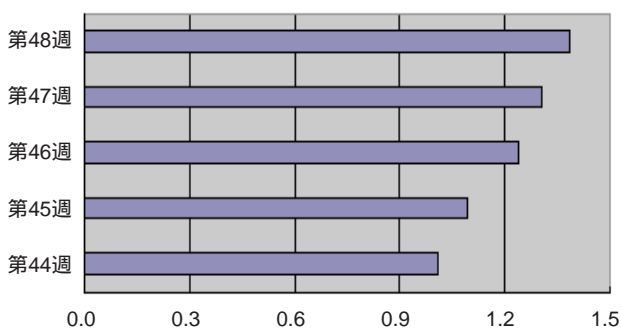


48週のデータ
P.20-27

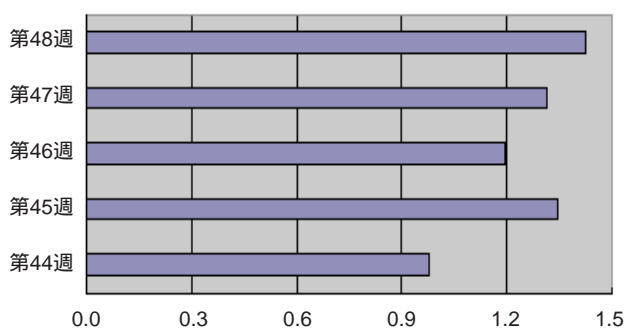
最近の注目疾患-5週間の動き

A群溶血性レンサ球菌咽頭炎は7週続けて定点当たり報告数が増加している。流行性耳下腺炎は前週より定点当たり報告数がやや増加しており、ここ5週間では増加傾向を示している。冬季の流行としては過去10年間で最大だった1997年の流行に匹敵する定点当たり報告数となっている。流行性角結膜炎の定点当たり報告数は前週とほぼ変わらない。水痘の定点当たり報告数は増加傾向にある。インフルエンザの報告数は全国的にまだ少ないが、緩やかな増加傾向を示している。

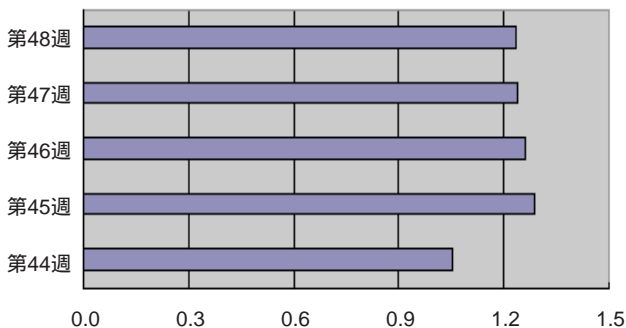
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



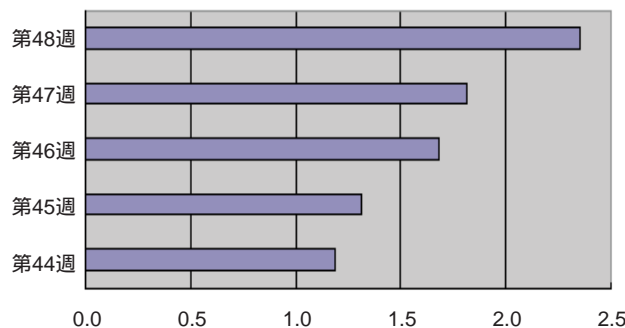
流行性耳下腺炎



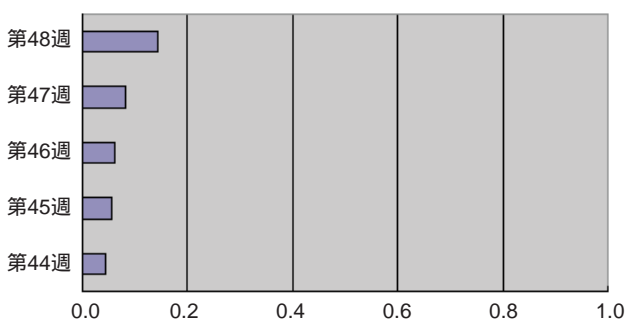
流行性角結膜炎



水痘



インフルエンザ



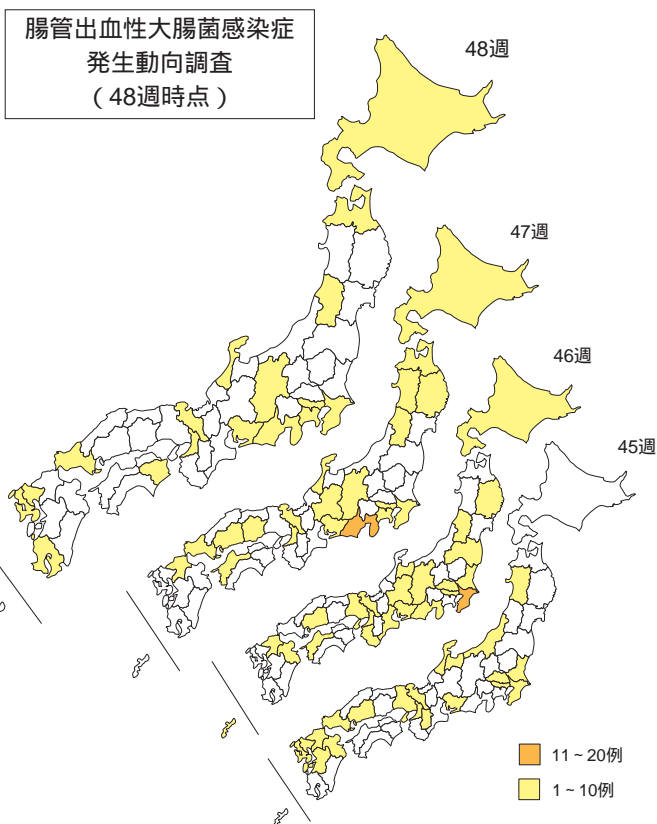
(注) グラフの横軸は各疾患の定点当たり報告数(報告総数/定点総数)を表す。疾患によって目盛りのスケールが違うことに注意。



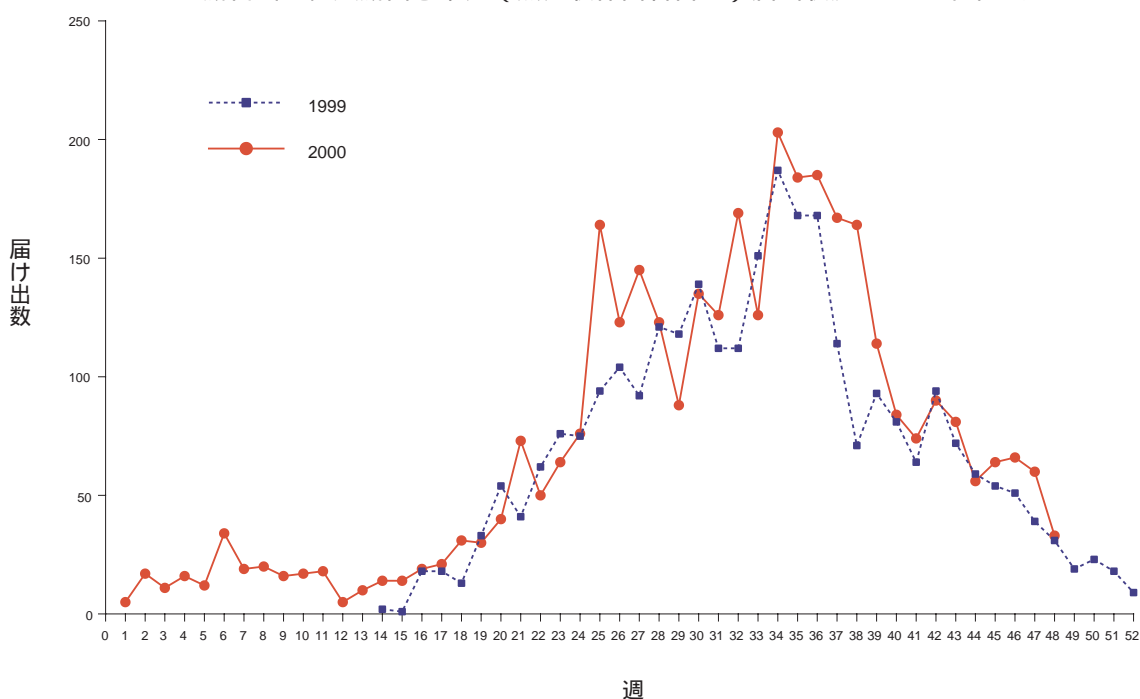
注目すべき感染症

腸管出血性大腸菌感染症流行状況

2000年第48週(11月27日 ~ 12月3日)の、腸管出血性大腸菌感染症報告総数(無症状病原体保有者含む)は33であった。千葉県から5例が報告されており、うち3例は第45 ~ 47週にも報告のあった県内の催事における集団感染事例(O157:VT2(+))の一部である。2000年第1週からの累積患者報告数は3,451となり、大阪府、東京都、神奈川県、愛知県、福岡県、兵庫県など大都市を含む都府県で累積報告数が多い。



腸管出血性大腸菌感染症(無症状保菌者含む)届出状況 2000年第48週





病原体情報

(2000年12月8日現在報告分)

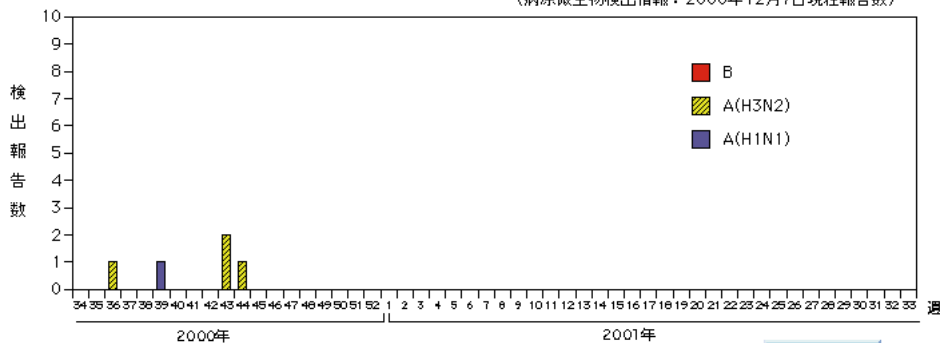
*グラフはIASRホームページ(<http://idsc.nih.gov/jp/iasr/index-j.html>)からの引用です。

インフルエンザ 2000/2001シーズン

今シーズンの分離・検出報告は、インフルエンザA/香港(H3N2)型ウイルスが広島県(第36週)から1件、愛知県(第43、44週)から3件報告された。また第39週に横浜市からA/ソ連(H1N1未同定)型ウイルスが1件報告されている。

週別インフルエンザウイルス分離・検出報告数、2000/2001シーズン

(病原微生物検出情報: 2000年12月7日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの分離報告を図に示した。



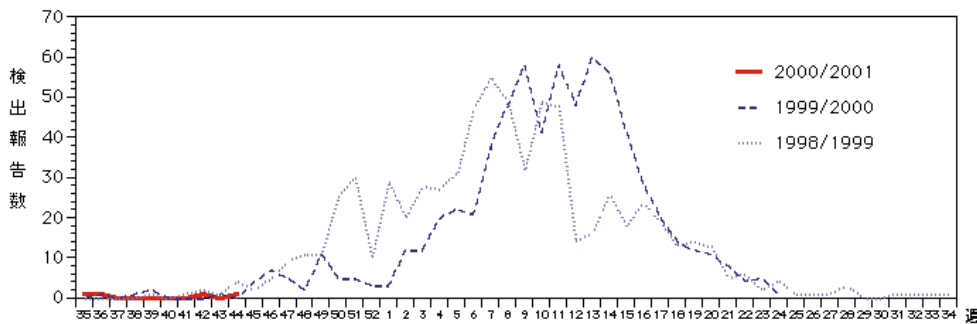
Infectious Agents Surveillance Report

感染性胃腸炎 2000/2001シーズン SRSVおよびロタウイルス検出報告

今シーズンのロタウイルスの検出報告は、大阪府(第35、42週)、新潟県(第47週)から各2件、愛知県(第36週)、岡山県(第42週)、山梨県(第44週)から各1件の報告があった。またSRSVは、新潟県から6件(第36、42、43、45週)、北九州市から5件(第37、43、46、47週)、栃木県から8件(第42、47～48週)、岡山県から3件(第42週)の報告があった。

週別ロタウイルスの検出報告数、シーズン別比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)

(病原微生物検出情報: 2000年12月1日現在報告数)



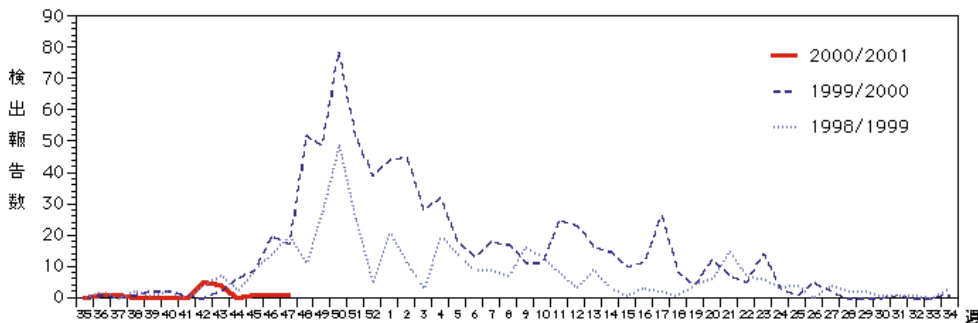
各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report

週別SRSVの検出報告数、シーズン別比較(1998/1999、1999/2000、2000/2001)

(病原微生物検出情報: 2000年12月7日現在報告数)



各都道府県市の地方衛生研究所からの検出報告を図に示した。



Infectious Agents Surveillance Report



ガールスカウト夏季キャンプにおける腸管出血性大腸菌 O157:H7の集団発生事例

2000年8月21日(月)愛知県より、大阪府在住で愛知県の祖父母宅へ遊びに来ていた女兒(10歳)から腸管出血性大腸菌(EHEC) O157(VT2産生)が検出されたが、この女兒が所属しているガールスカウト団が8月12日～14日にかけて大阪府内でキャンプを行っていたため、接触者の調査を依頼する旨連絡があった。直ちに、キャンプ参加者全員に電話で健康調査を行い、また、家族および接触者を対象とした調査によって、合計10名からEHEC O157:H7(VT2産生)が分離された。愛知県より初発患者由来株の分与を受け、11名からの分離株について疫学マーカー解析を行ったので、本事例の概要とあわせて報告する。

感染者調査:健康調査の対象となったのは、ガールスカウト団員(10名)と引率者(3名)、その家族や接触者など59名である。なお、初発患者(団員A)の家族は含まれていない。

団員Aは8月15日に発熱・鼻水など風邪症状で発症し、翌日から激しい下痢と腹痛を呈し、18日に入院、21日にはHUSを併発した。他の団員のうち有症者は2名で、1名(団員B;9歳)は同日に、もう1名(団員C;10歳)は18日に発症していたが、症状はいずれも軽く、2～4日の下痢と腹痛のみで軽快していた。家族・接触者のうち有症者はBの妹(家族N;5歳)のみで、8月21日に激しい下痢、血便、腹痛で発症し、翌日より12日間入院した。

8月23日から保健所で糞便検査を実施したところ、23日と24日に受け付けた10名のうち、すでに無症状となっていた団員Bと団員Cを含む9名からEHEC O157(VT2産生)が分離された。また、家族Nは医療機関において22日の便からEHEC O157(VT2産生)が分離された。25日以降も菌陽性者の家族などを対象に調査を行ったが、全員陰性であった。なお、菌陽性者は、その後O157が陰性となったことを確認している。

疫学マーカー解析:本事例で分離された11株の大腸菌は、いずれも血清型はO157:H7、VT2産生性で、ディスク法(BBL)による薬剤感受性試験では、ABPC、SM、TC、CPFX、KM、CTX、CP、ST、TMP、GM、NA、FOMの12剤について感受性であった。

パルスフィールド・ゲル電気泳動(PFGE)は制限酵素XbaIとBlnIについて実施した。団員と引率者由来の10株は全く同一パターンを示したが、家族Nでは、XbaI切断でやや大きいサイズ(バンドa)が1本多く、BlnI切断では500kb付近の大きな断片に違いがあり、バンドbが確認されたが、cがみられなかったこと以外は同じパターンを示した。全株とも、プラスミドプロファイルは90kbと60kbを保有する型で、付着性因子としてeaeAがみとめられた。

感染源調査:保健所で各食材の生産量および流通経路を調査した。このうち、13日晚の煮込みハンバーグには市販のレトルトハンバーグを使用していたが、検査を実施しておらず、感染源を特定できなかった。また、サラダに使ったカイワレは生産者の自主検査でO157陰性であったことが確認されている。

一方、キャンプ場の簡易専用水道は、8月30日に採水して保健所で水質試験を行ったが、一般生菌数5個/ml、大腸菌群陰性、残留塩素0.3mg/lで水道法に基づく水質基準に適合していた。また、この浄水2リットルをろ過し、フィルターをノボピオン加m-EC培地で36 一夜増菌培養後、CT-SMACで分離培養を行ったが、O157は分離されなかった。

まとめ:本事例はガールスカウトのキャンプに参加した13名中10名からO157:H7(VT2産生)が分離され、その疫学マーカーが一致していたことから、感染源はキャンプの食材あるいは環境汚染が疑われたが、特定するには至らなかった。家族Nは、発症時期が遅れており、姉からの二次感染であると考えられる。

野外キャンプ等では食材の冷蔵保存が困難であり、O157をはじめとする食中毒病原性細菌の汚染があった場合、夏季には菌数が増加することが推察されるので、食材の取扱いには注意が必要であると考えられる。

大阪府立公衆衛生研究所微生物課
勢戸和子 田口真澄 河原隆二 小林一寛

(IASR12月号掲載予定記事より抜粋、詳細は同号参照)



海外感染症情報

ポリオの流行 ドミニカ共和国とハイチ

CDC/travelers' health outbreaks 2000年12月5日

ドミニカ共和国で2000年7月12日以降、3人の急性弛緩性麻痺患者からワクチン株由来ポリオウイルス1型が確認され、さらに同様の症状を呈する患者16人について現在調査が進行中である。

ハイチでは8月30日に麻痺が発症した患者1人からワクチン株由来ポリオウイルス1型が確認された。患者発見活動が強化されているが、他に患者は報告されていない。

両国の保健省は、流行範囲を決定し、流行の理由をつきとめるため、汎アメリカ保健機関(PAHO) CDCと協力して調査を行っている。積極的な制御対策として、ドミニカ共和国ではすでに経口ポリオワクチン(OPV)の予防接種キャンペーンが始まっている。ハイチではOPVの予防接種が2001年の1月、2月、3月の3回全国で実施される予定である。

ウガンダでのエボラ出血熱 更新

WHO/CSR 2000年12月8日

12月8日までに、ウガンダ保健省は検査室検査で確認された地区ごとの患者数を次のとおり報告した。

- ・Gulu地区では6例の確定診断患者と2例の死亡者が報告された。累積患者発生状況としては、142例の死亡者を含む376例となった。
- ・Masindiでは2人の死亡者が報告された。新たな患者は発生していない。累積患者発生状況としては、14例の死亡者を含む24例となった。
- ・Mbararaでは新たな患者も死亡者も報告されていない。

全流行地域の累積患者発生状況としては、160例の死亡者を含む405例となった。

10月中旬からWHOが調整を行っているGlobal Outbreak Alert and Response Networkの協力国はGulu, Masindi, Mbarara地区でのエボラ出血熱流行に対する支援を行っている。流行に対する国際支援は流行初期の急性期を過ぎても継続されているが、現在でも流行鎮静化のためには対策強化の維持が必要である。

Masindiの状況に対して特別な注意が必要なため、ウガンダ保健省は次の分野での支援ボランティアを要請した。疾病サーベイランスと追跡中の接触者の管理、遺体の輸送、社会教育、感染対策および患者の治療の分野である。WHOと協力国は職員をこうした要請に応じ配置している。

南アフリカでのコレラ 更新

WHO/CSR 2000年12月6日

Kwazulu-Natal保健省は、2000年8月中旬から始まった流行で12月5日までに、6,548人の患者と35人の死亡者を報告した。11月20日以降、新たな死亡者および流行地は報告されていない。

Kwazulu-Natalへの旅行や同地域からの移動に関して、特別な制限はされていない。

西ナイルウイルスの活動性 更新

CDC/MMWR 2000年11月24日

西ナイルウイルスのサーベイランスシステムを通してCDCに報告されたデータによると、西ナイルウイルスが西半球で報告された最初の年である1999年と比べて、2000年はその地理的活動範囲が広がっている。西ナイルウイルスの発生に対し、大西洋とメキシコ湾岸の17州、ニューヨーク市そしてコロンビア特別地区において、蚊、モニター用ニワトリ、野鳥、そして潜在的に感受性のある哺乳動物(例えば、ウマ、ヒト)を含むサーベイランスを実施している。

2000年には18人(14人はニューヨーク、4人はニュージャージーの住民)が、西ナイルウイルスによって引きおこされた重篤な中枢神経系の疾患のため入院した。患者の年齢の分布は36歳から87歳であった(中間値は62歳)。12人は男性であった。トリや蚊など動物間での流行発生はこれら全ての郡内のヒトでの疾患発生の前兆となった。診断はELISA法により脳脊髄液で西ナイルウイルスに特異的なIgM抗体を検出することや、またはペア血清での西ナイルウイルスの特異的な中和抗体価の4倍の上昇によって下された。発症時期は7月20日から9月13日である。18人の患者のうち、1人は死亡し(致死率:6%)、1人は植物状態が続いている。加えて、コネチカットのフェアフィールド郡に住む女性は軽症の西ナイルウイルス感染であった。

西ナイルウイルスの動物間での感染は1999年に最初に流行した4つの州で存続しており、その他8つの州とコロンビア特別地区に拡大したにも関わらず、1999年の62人の患者数と比べて、2000年に西ナイルウイルスに起因した重篤な神経疾患になったのは18人であった。しかし、感染したヒトのうち重篤な神経疾患は1%未満で発生し、約2,000人が今年の間感染したとされている。

サーベイランスの主な目的は、重症なヒトの患者が発生する前に動物間の流行を早期に見出すことである。2000年、重篤な神経疾患の患者の18人全員が発症する前に、彼らが居住している郡で西ナイルウイルスに感染して死んだトリが確認された。鳥類のサーベイランスデータは動物間伝播の感度の高い指標となり、ヒトでの疾患発生の前兆となるかもしれない。しかし、1人以上の重篤な神経疾患の人間を報告したのは、西ナイルウイルスに感染したトリの存在が報告された133の郡のうち7郡(5%)のみであった。陽性の蚊が報告された38郡のうち6郡(16%)で少なくとも1人の重篤な患者が発生しており、西ナイルウイルス陽性の蚊の存在は重篤なヒトの患者の発生の指標として有用であるかもしれない。しかし、ヒトの疾患の発症の前に感染蚊群が確認されたのは38郡のうちの5郡だけであった。



感染症の話

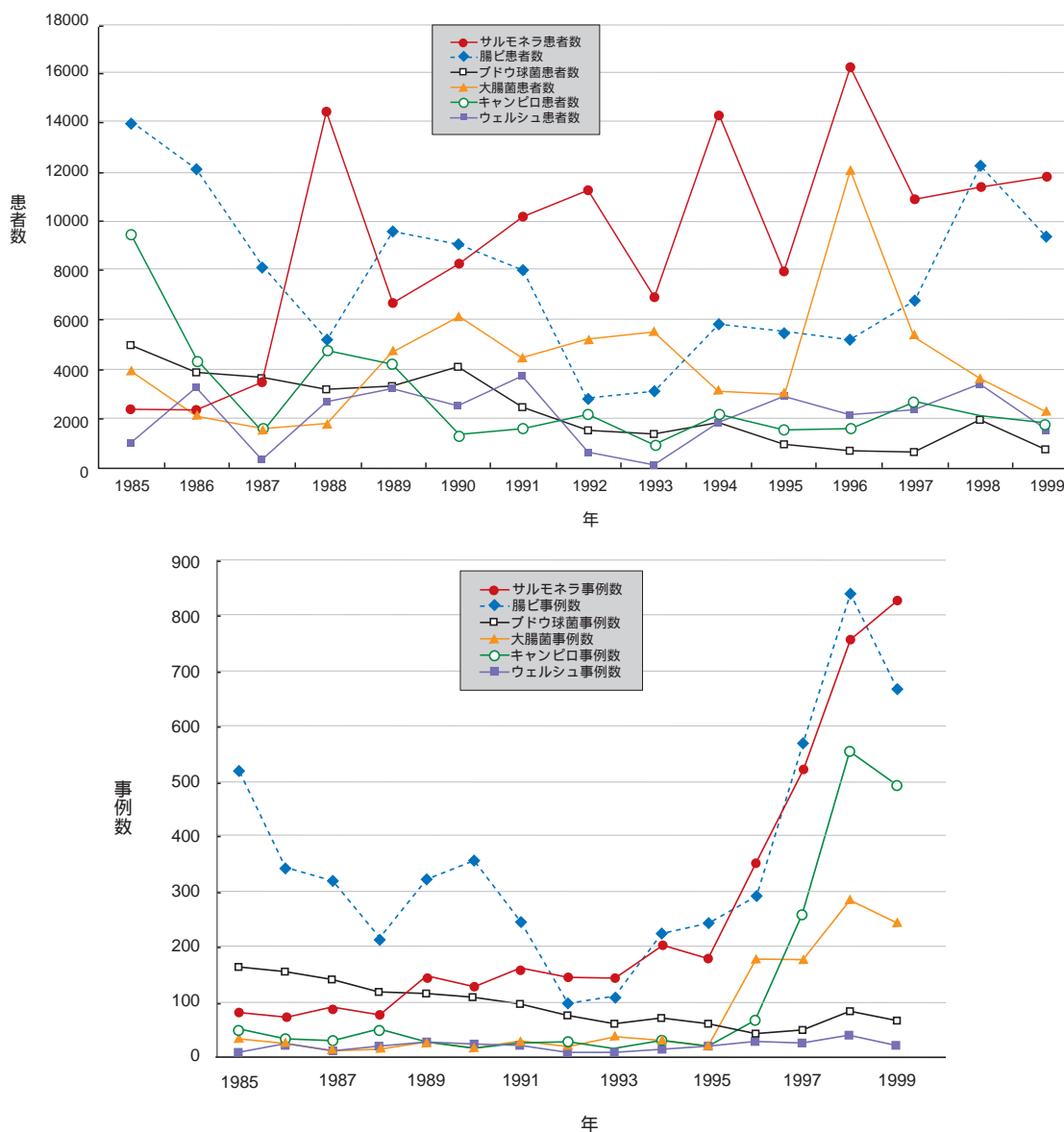
サルモネラ感染症

サルモネラ感染症の原因菌はサルモネラ (*Salmonella enterica*) である。サルモネラはその中が2,000種類以上の血清型に細分されており、チフス性疾患をおこす腸チフス菌 (*S. Typhi*) およびパラチフスA菌 (*S. Paratyphi A*) 光含まれるが、ここではヒトに胃腸炎つまり食中毒の原因となるサルモネラについて述べる。

疫学

わが国におけるサルモネラの食中毒事例はここ数年常に、腸炎ピブリオと一、二を争う代表的食中毒原因菌である(図1)。

図1. 主な細菌別に見た食中毒患者数(上)と事例数(下)の推移(厚生省生活衛生局食品衛生課)



本菌による食中毒事例は大型のものが多く、学校、福祉施設、病院で多発している。その血清型との関係では、1980年後半から *S. Enteritidis* が鶏卵関連食品を原因として急増してきた。また、多剤耐性の *S. Typhimurium* も世界的にその予防対策が公衆衛生上の大きな問題になっており、わが国においても同様の傾向がある。

サルモネラは健康な成人ではその症状が胃腸炎にとどまるが、小児や高齢者では重篤となることがある。1999年1～5月に全国規模で多発した子供用イカ菓子が原因の *S. Oranienburg* は、後者の典型的事例であった。

病原体

サルモネラはグラム陰性の通性嫌気性桿菌で腸内細菌科に属し、周毛によって運動するが、鞭毛を欠く非運動性菌もある(図2)。

一般に、サルモネラの中で胃腸炎をおこすものは生物群Iの血清型で、その他の生物群のサルモネラは非病原性とされている。

サルモネラは自然界のあらゆるところに生息し、ペット、鳥類、爬虫類、両生類が保菌している。とくに家畜(ブタ、ニワトリ、ウシ)の腸管内では、常在菌として保菌されていることが知られている。

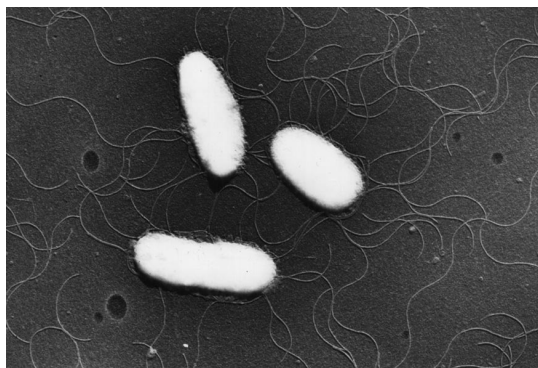


図2. *Salmonella Enteritidis* の電子顕微鏡写真

臨床症状

サルモネラの臨床症状は多岐にわたるが、最も普通にみられるのは急性胃腸炎である。通常8～48時間の潜伏期を経て発病するが、最近の *S. Enteritidis* 感染では3～4日後の発病も珍しくない。症状はまず悪心および嘔吐で始まり、数時間後に腹痛および下痢を起こす。下痢は1日数回から十数回で、3～4日持続するが、1週間以上に及ぶこともある。小児では意識障害、痙攣および菌血症、高齢者では急性脱水症および菌血症を起こすなど重症化しやすく、回復も遅れる傾向がある。

病原診断

その他の食中毒菌による急性胃腸炎でも共通することであるが、症状と患者背景により臨床診断をし、平行して確定診断を行う。38 以上の発熱、1日10回以上の水様性下痢、血便、腹痛などを呈する重症例ではまず本症が疑われることが多い。検査所見では、炎症の程度に応じて白血球数、CRP等の炎症反応の増加が見られる。菌血症や胃腸炎でもトランスアミラーゼが上昇することがある。確定診断には糞便、血液、穿刺液、リンパ液等より菌の検出を行う。サルモネラの特異的な迅速診断法はない。

治療・予防

サルモネラのみならず細菌性胃腸炎では、発熱と下痢による脱水の補正と、腹痛など胃腸炎症状の緩和を中心に対症療法を行うのが原則である。強力な止瀉薬は除菌を遅らせたり麻痺性イレウスを引き起こす危険があるので、使用しない。解熱剤はニューキノロン薬と併用禁忌のものがある上、脱水を悪化させる可能性があるのでできるだけ使用を避ける。抗菌薬は軽症例では使用しないのが原則であるが、重症例で使用が必要な場合にはつぎのことに考慮が必要である。

サルモネラは試験管内では多くの抗菌薬に感受性であるが、臨床的に有効性が認められているものはアンピシリン(ABPC)、ホスホマイシン(FOM)、およびニューキノロン薬に限られる。わが国の非チフス性サルモネラの薬剤耐性率はABPCに20 ~ 30%、FOMに対し10%未満であり、ニューキノロン薬耐性はほとんどみられない。

上記のように、サルモネラ症では症状が改善されても排菌が続くことがある。抗菌薬の投与によって腸内細菌叢が攪乱され除菌が遅れるうえ、耐性菌の誘発、サルモネラに対する易感染性を高めるなどの理由で、単純な胃腸炎には投与すべきではないとの意見が欧米では一般的であるが、わが国では、ニューキノロン薬の7日間投与は腸内細菌叢に対する影響もなく除菌率も高いという成績に基づき使用されている。

処方:

ニューキノロン薬(下記のいずれか1剤)

ノルフロキサシン、シプロフロキサシン	300 ~ 400mg, 分3, 7日間
トスフロキサシン	450mg, 分3, 7日間
レボフロキサシン	300mg, 分3, 7日間
ホスホマイシン	2.0g, 分3 ~ 4, 7日間
アンピシリン	1.5 ~ 2.0g, 分3 ~ 4, 7日間

サルモネラ症の予防としては、原因食品特に食肉および鶏卵の低温保存管理、また、それらの調理時および調理後の汚染防止が基本である。低年齢層ではペットおよび衛生昆虫からの接触感染も無視することはできない。

食品衛生法での取り扱い

食中毒が疑われるときには、24時間以内に最寄りの保健所に届け出る。

発生動向調査について

サルモネラ感染症は、感染症法では4類感染症(定点把握疾患)として規定されている「感染性胃腸炎」の起因病原体の一つである。感染性胃腸炎は、都道府県知事から指定された約3,000の小児科定点となった病院あるいは診療所より週単位で報告される。

(国立感染症研究所細菌部 田村和満)



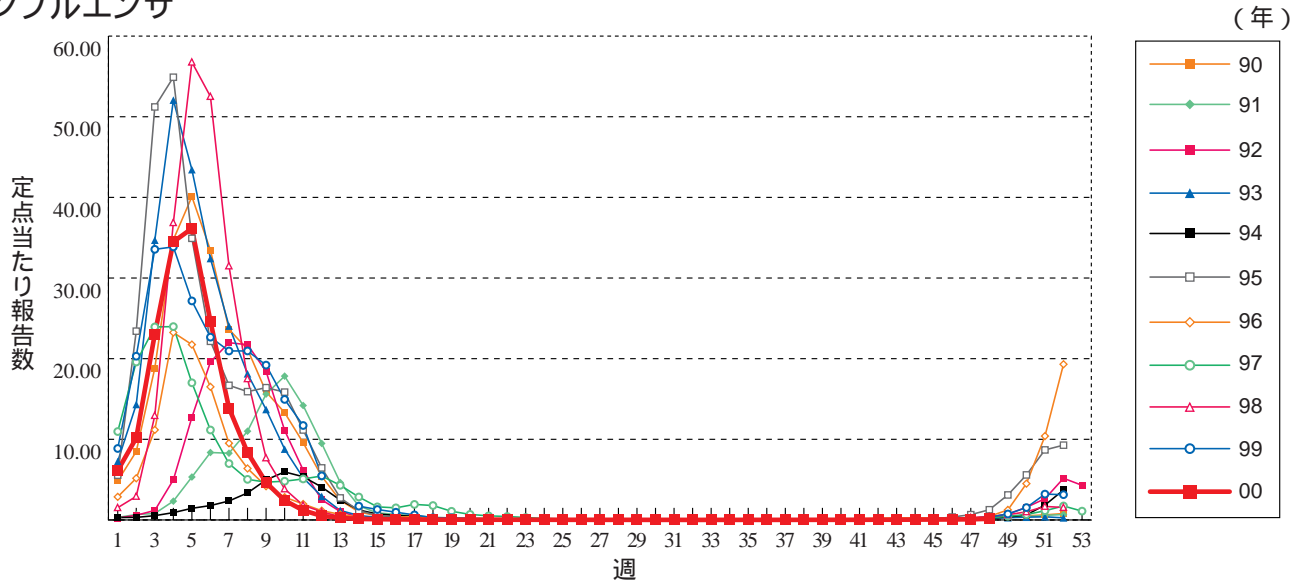
読者のコーナー

「読者のコーナー」では読者のみなさまからのご意見・ご質問をお待ちしております。
ご意見・ご質問は、題名(タイトル)の一番はじめにidwr-QをつけてこちらまでEメールでどうぞ。

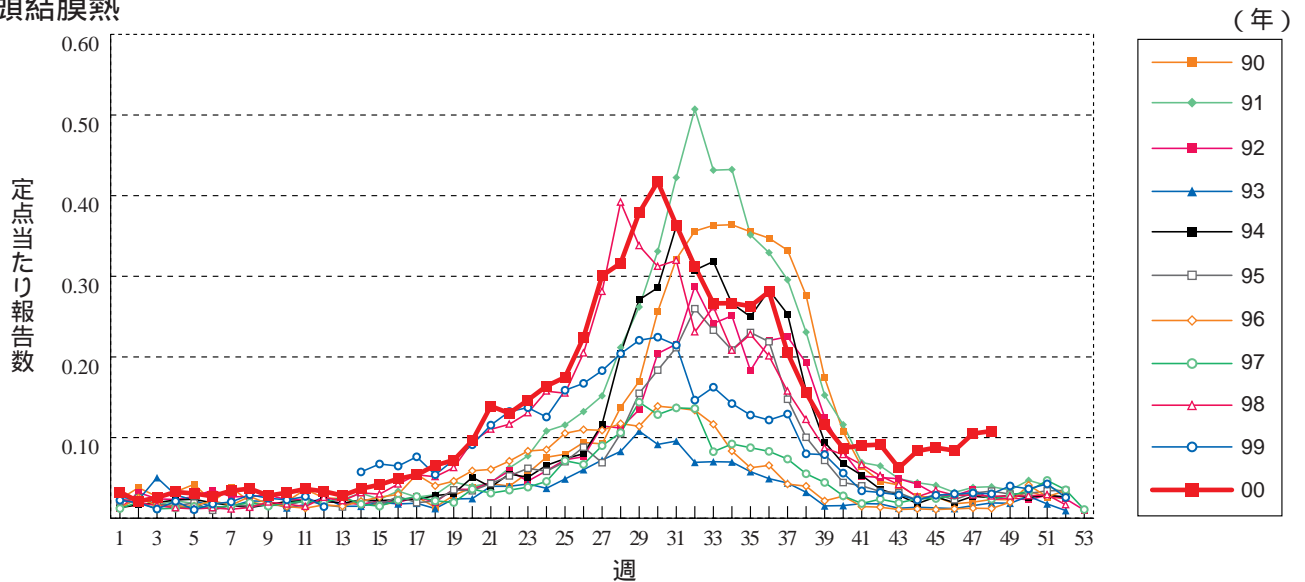
idsc-query@nih.go.jp

グラフ総覧(48週)

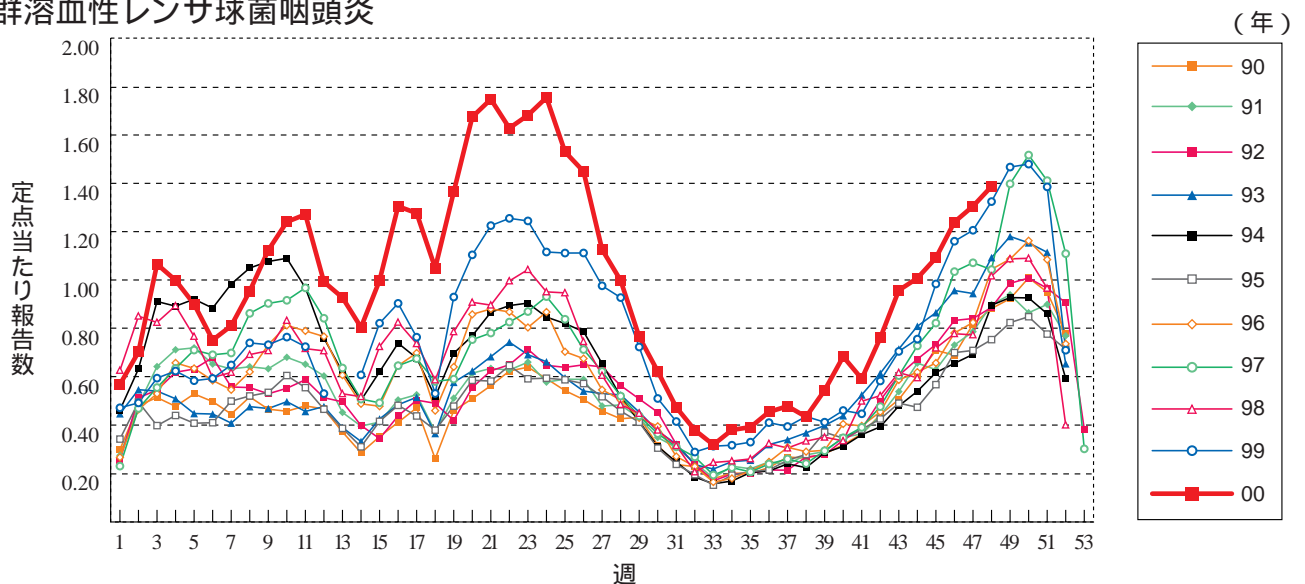
インフルエンザ



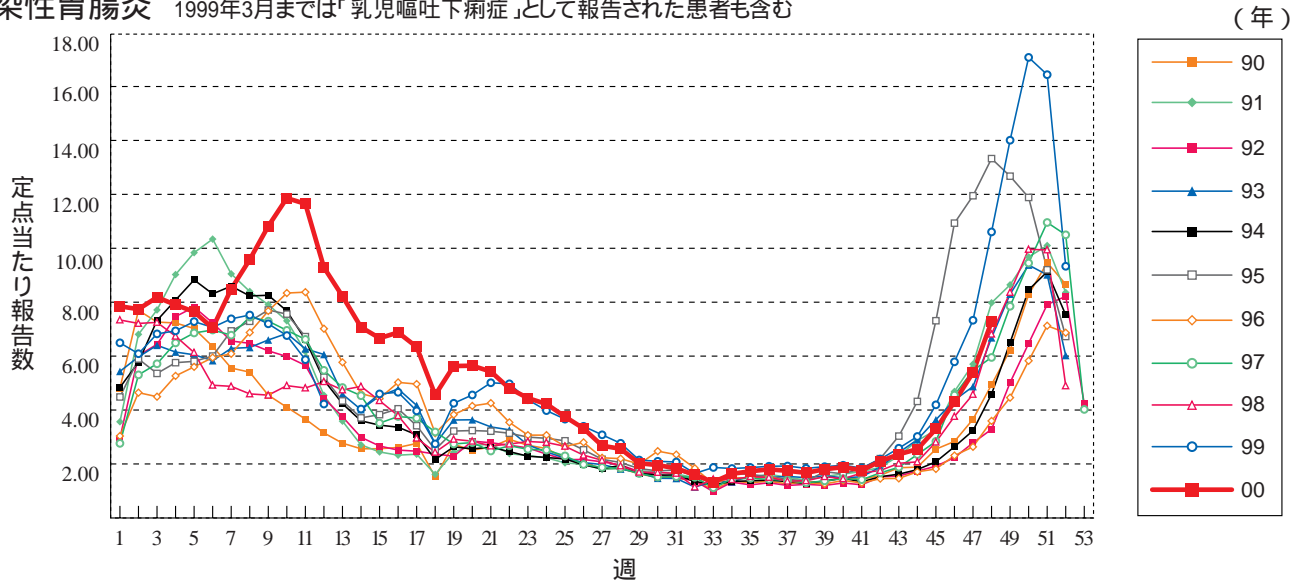
咽頭結膜熱



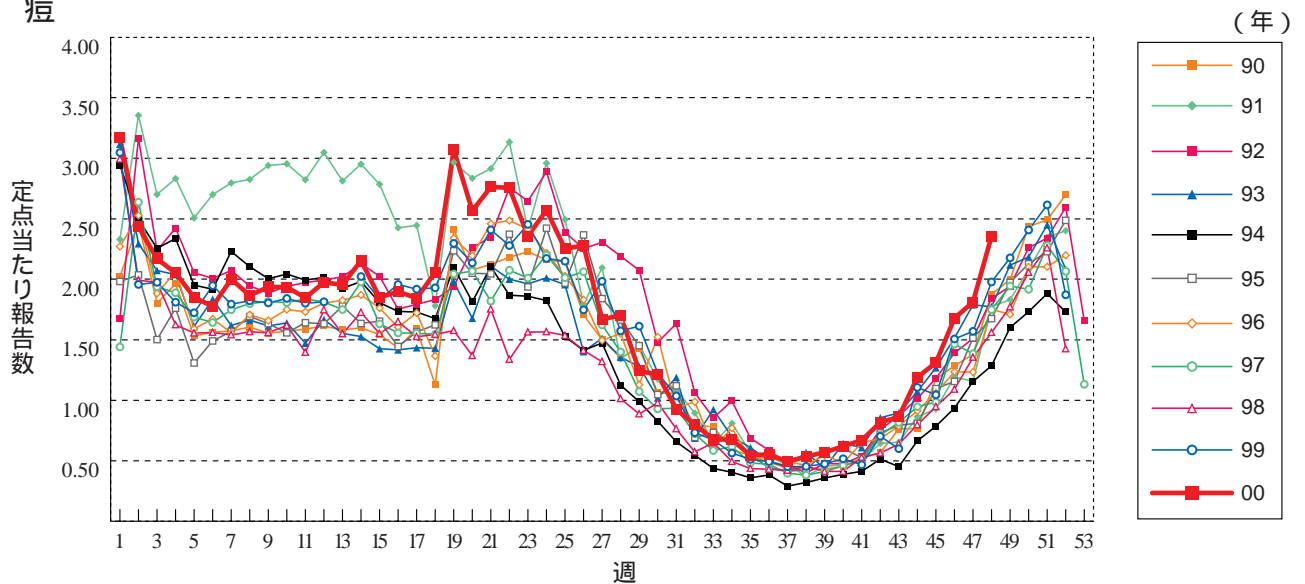
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎



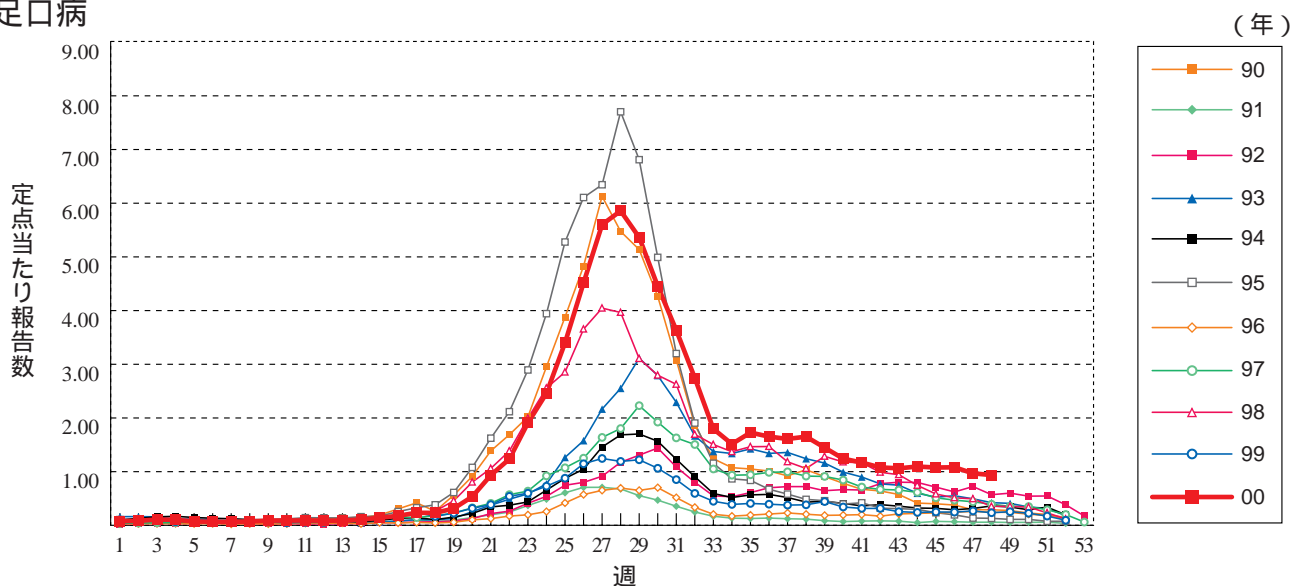
感染性胃腸炎 1999年3月までは「乳児嘔吐下痢症」として報告された患者も含む



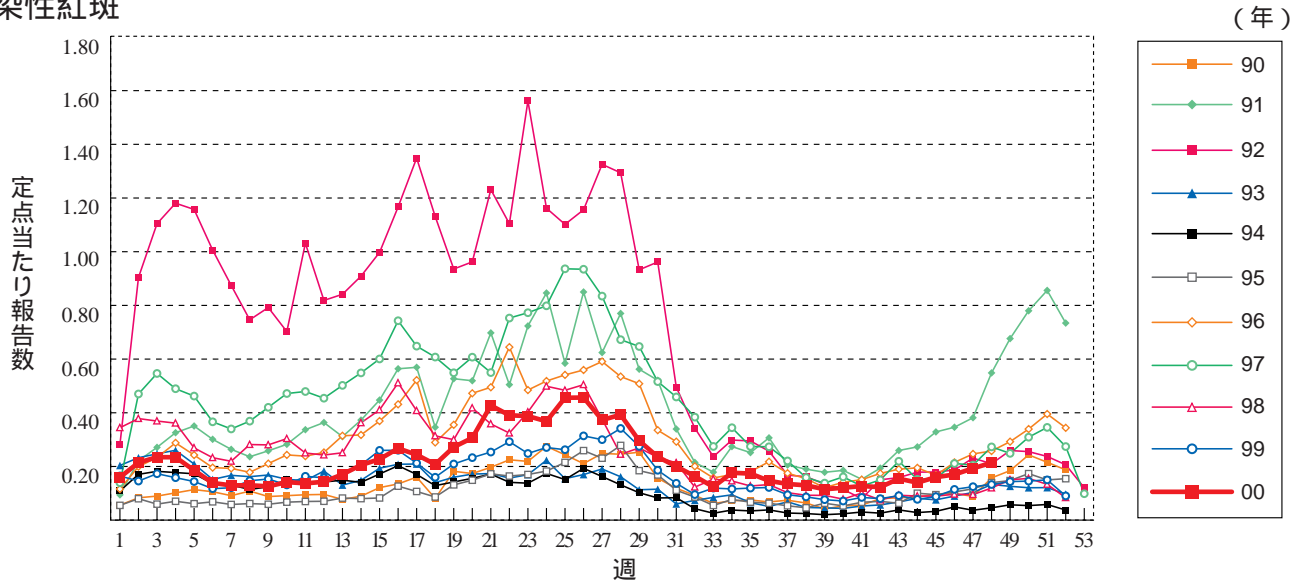
水痘



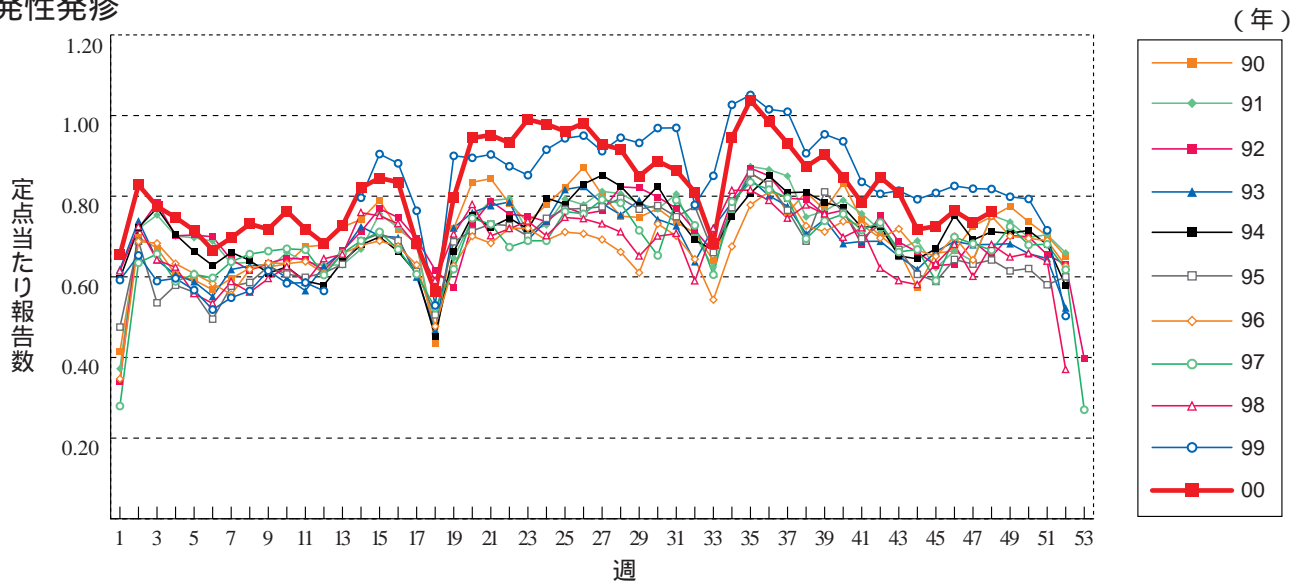
手足口病



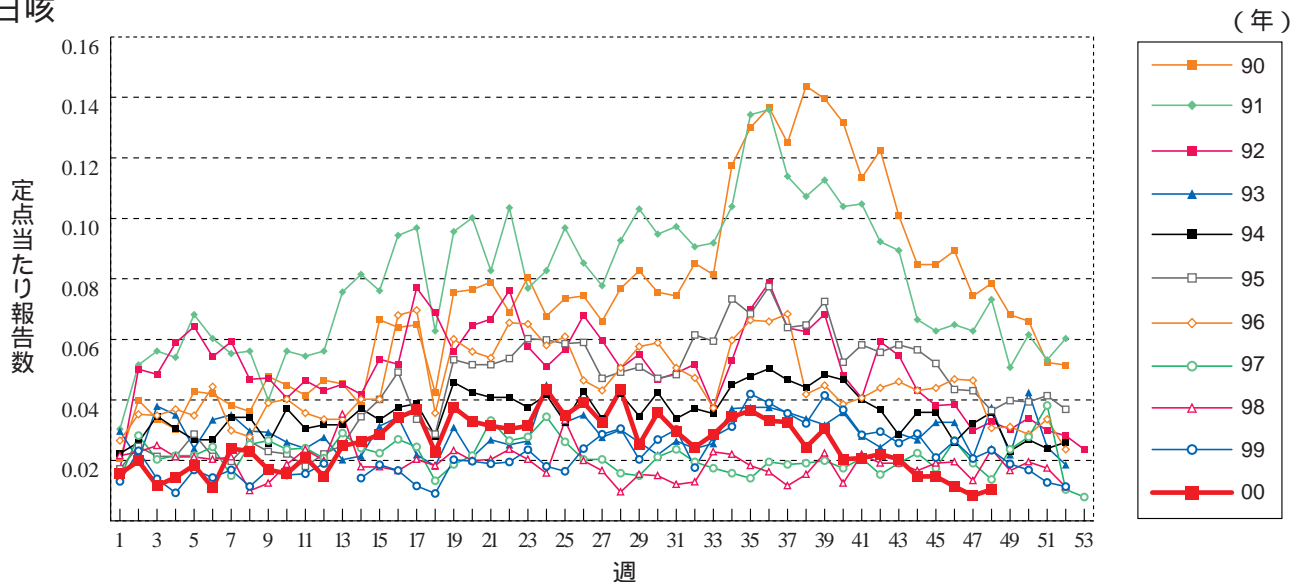
伝染性紅斑



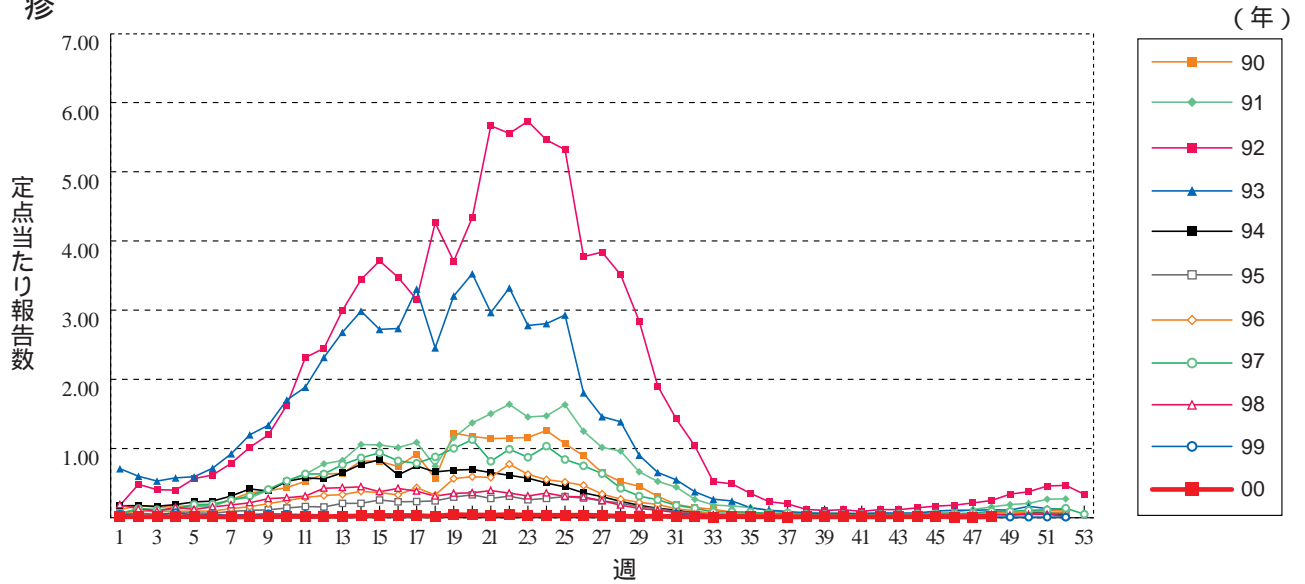
突発性発疹



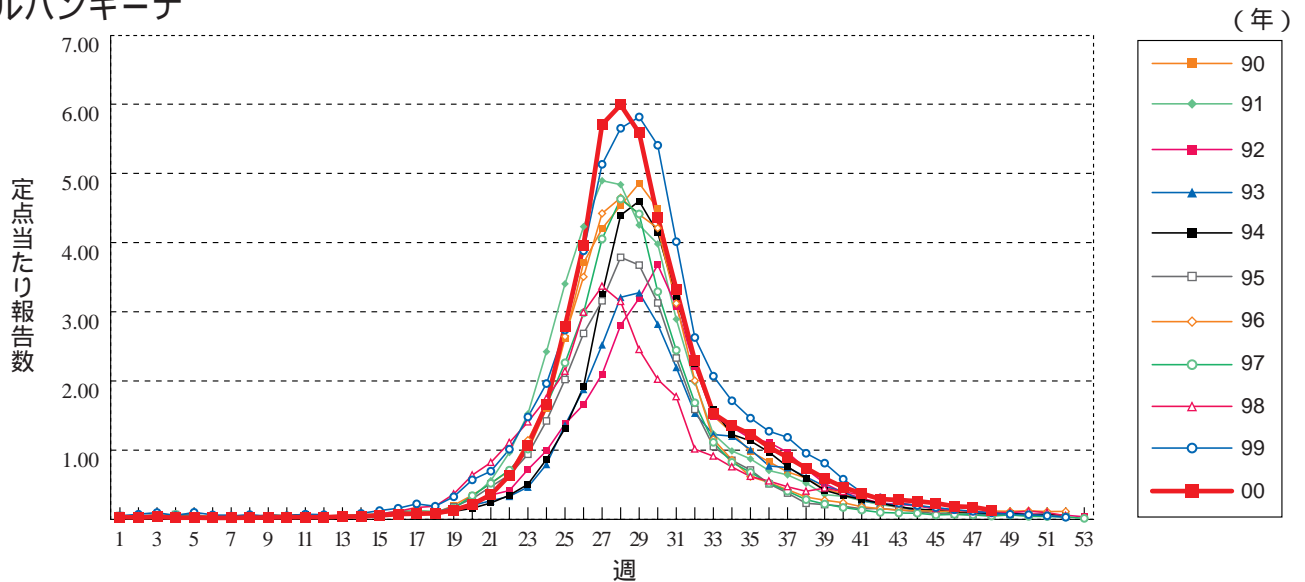
百日咳



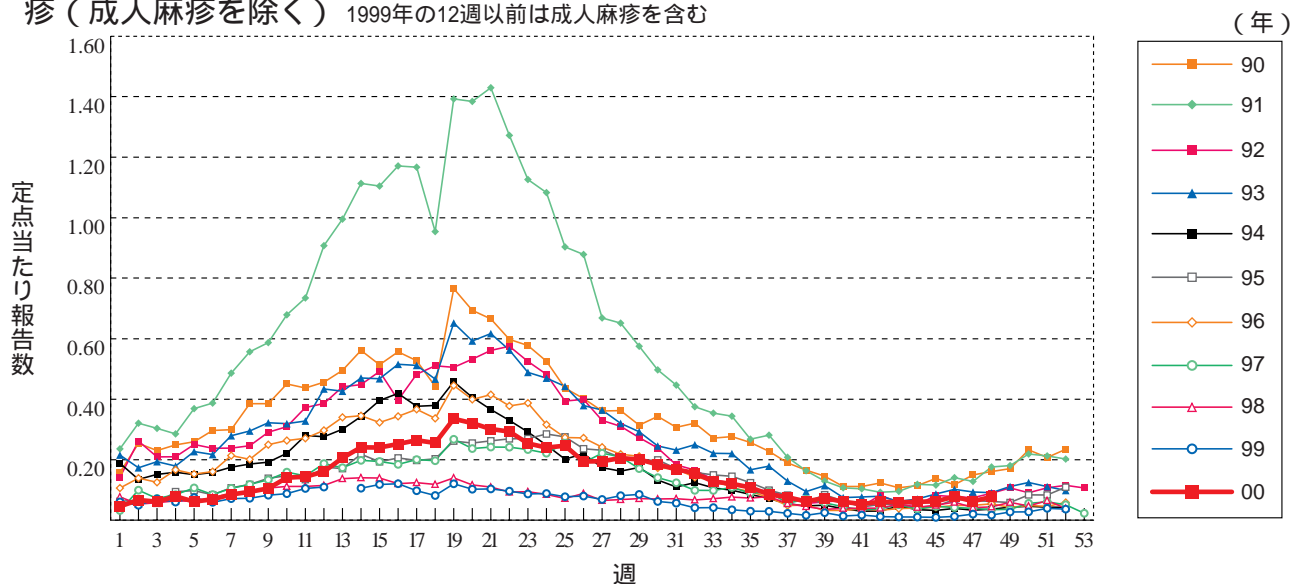
風 疹



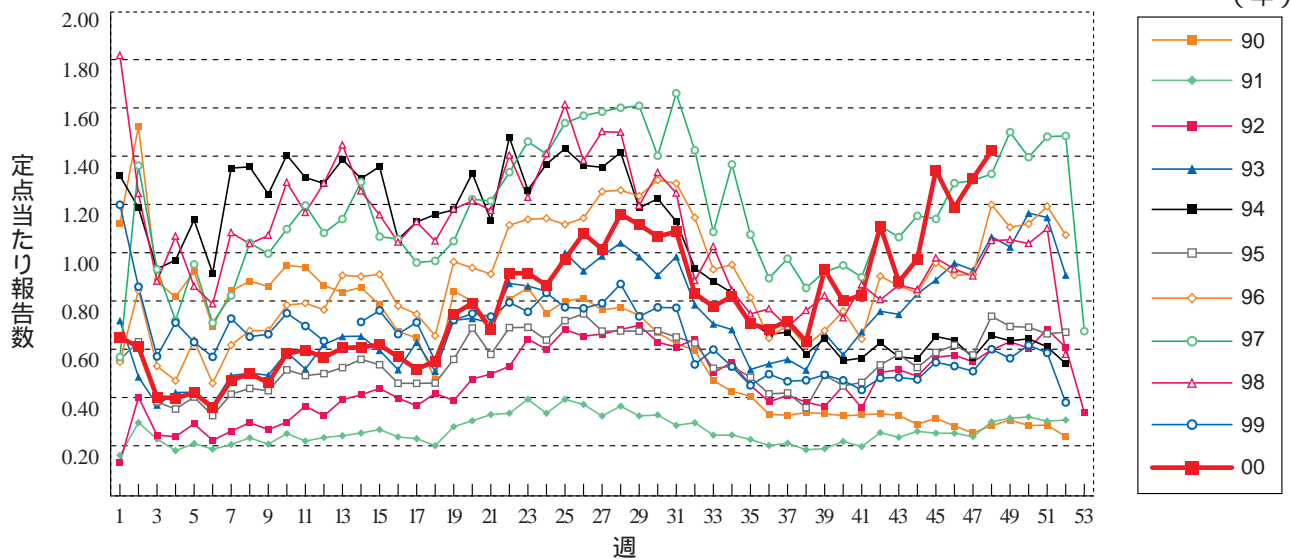
ヘルパンギーナ



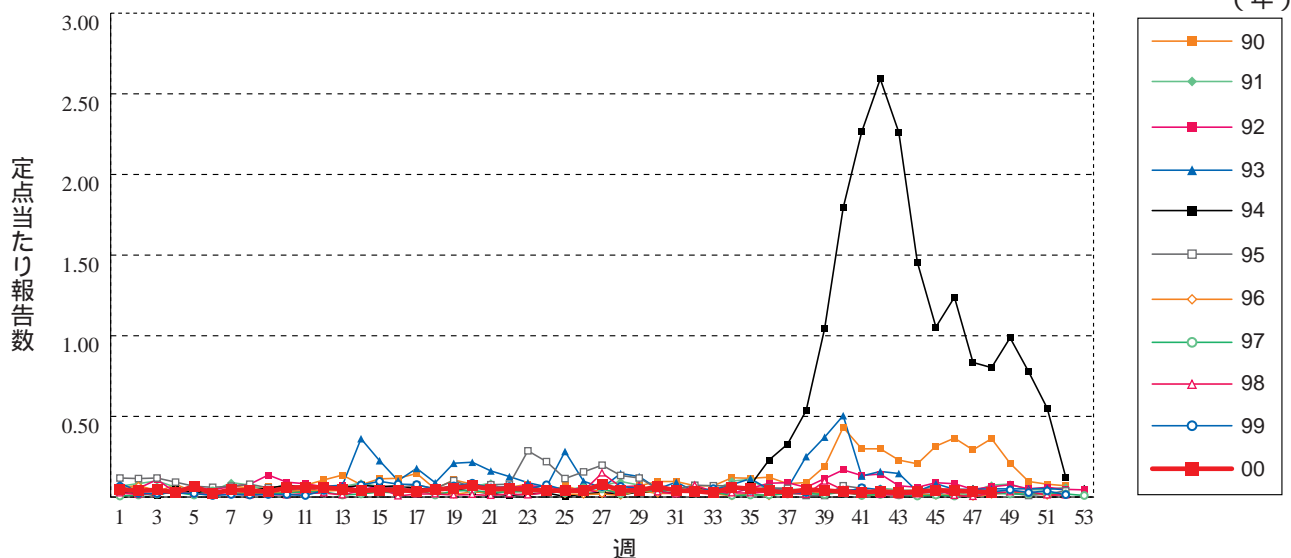
麻 疹 (成人麻疹を除く) 1999年の12週以前は成人麻疹を含む



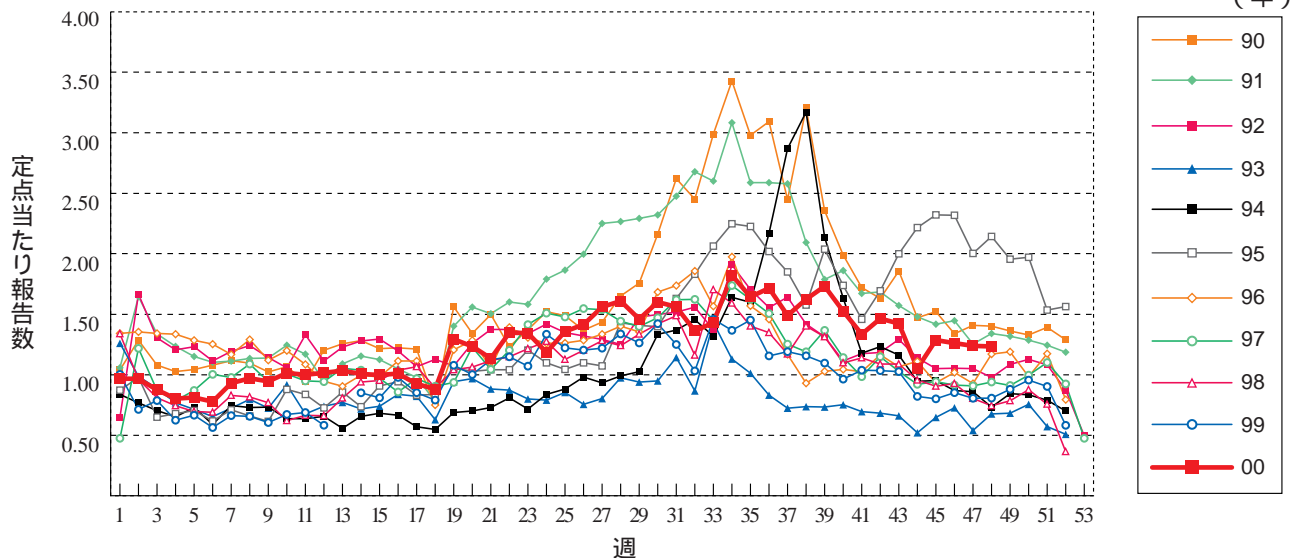
流行性耳下腺炎



急性出血性結膜炎

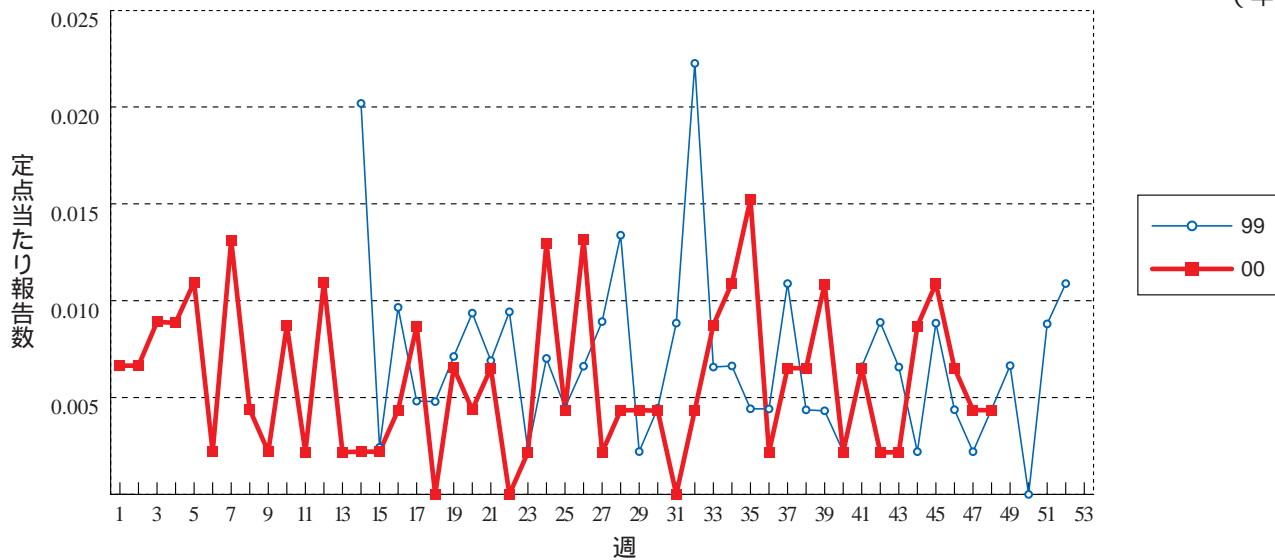


流行性角結膜炎



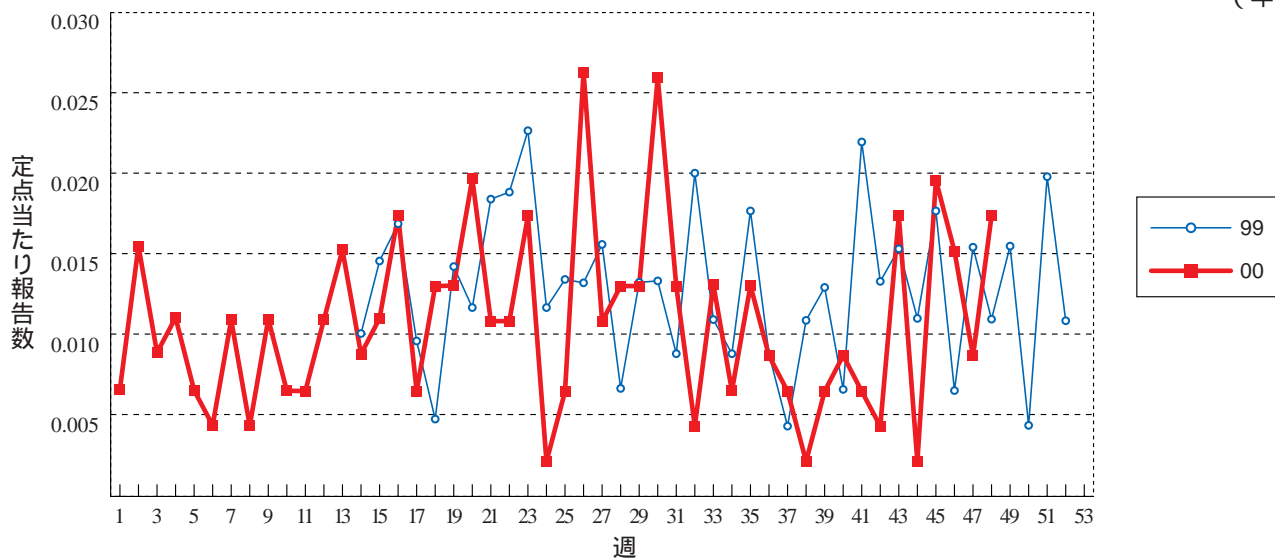
急性脳炎（日本脳炎を除く）

(年)



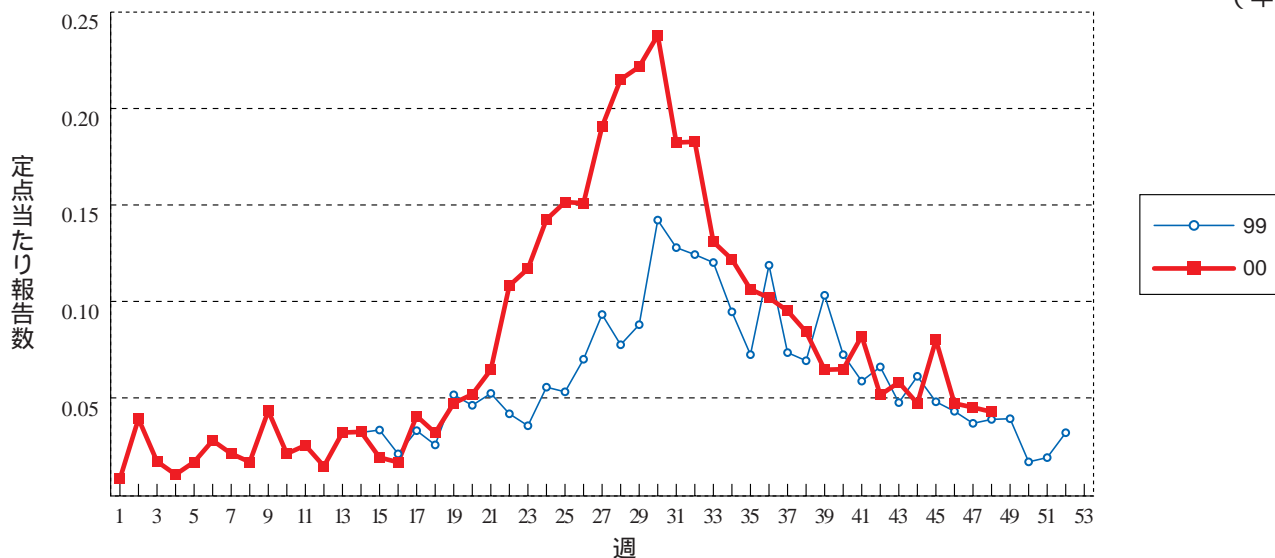
細菌性髄膜炎

(年)



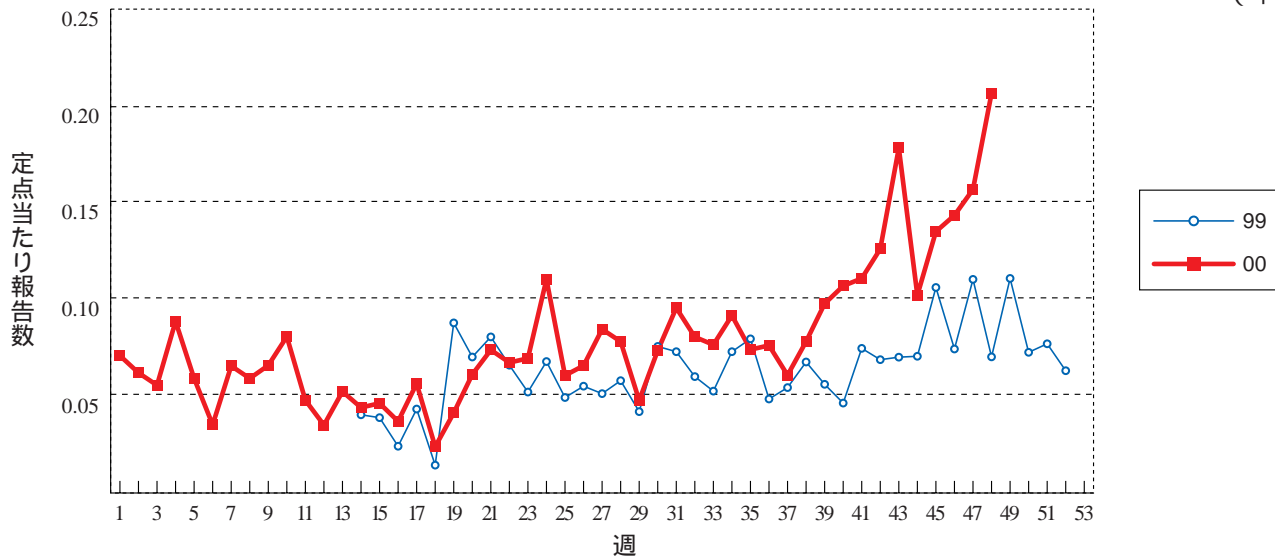
無菌性髄膜炎

(年)



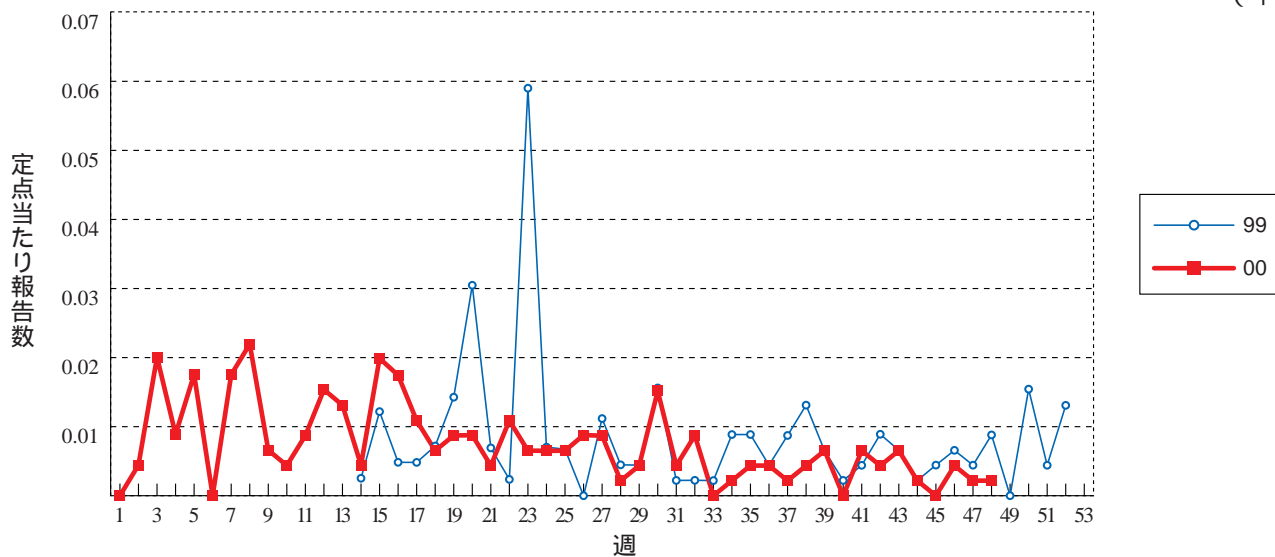
マイコプラズマ肺炎

(年)



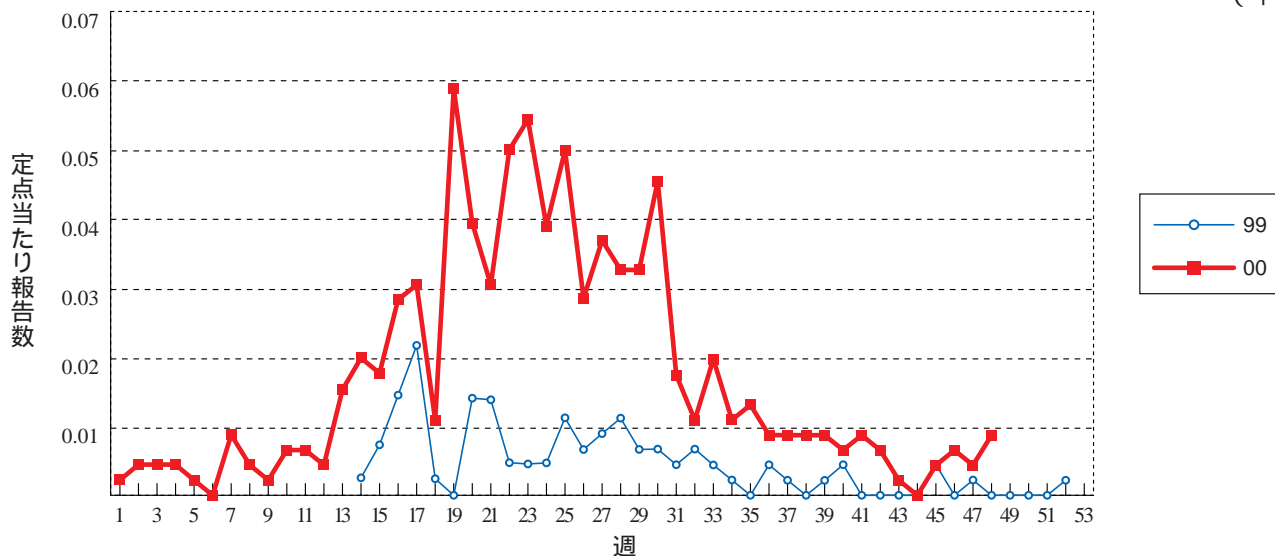
クラミジア肺炎 (オウム病を除く)

(年)



成人麻疹

(年)





48週のデータ

注)表中の報告数は12月7日集計分であり、その後の報告数は次週以降の累計に反映されます。

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年48週

	エボラ出血熱		クリミア・コンゴ出血熱		ペスト		マールブルグ病		ラッサ熱		コレラ		細菌性赤痢		腸チフス		パラチフス	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	50	15	780	-	80	-	19
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	24	-	3	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	-	-	-
宮城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	6	-	-	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	5	-	-	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	2	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	10	-	2	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	22	-	3	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6	1	28	-	4	-	4
東京都	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	5	2	134	-	15	-	7
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	57	-	4	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	1	-	1
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	19	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
静岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	24	-	4	-	-
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	1	44	-	7	-	1
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	7	-	-	-	1
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	1	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	20	-	2	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	63	-	8	-	4
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	1	29	-	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	14	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	8	-	1	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	1	-	1
広島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	13	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	1	42	-	2	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	4	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	1	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	-	2	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	19	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年48週

	急性灰白髄炎		ジフテリア		腸管出血性大腸菌感染症		アメーバ赤痢		エキノコックス症		黄熱		オウム病		回歸熱		ウイルス性肝炎	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	-	1	-	1	33	3451	4	331	-	20	-	-	-	18	-	-	8	913
北海道	-	-	-	-	2	99	-	6	-	19	-	-	-	-	-	-	2	15
青森県	-	-	-	-	1	42	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
岩手県	-	-	-	-	-	110	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮城県	-	-	-	-	-	56	-	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
秋田県	-	-	-	-	-	61	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
山形県	-	-	-	-	1	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
福島県	-	-	-	-	-	20	-	5	-	1	-	-	-	2	-	-	-	3
茨城県	-	-	-	-	-	32	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
栃木県	-	-	-	1	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
群馬県	-	-	-	-	-	27	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	23
埼玉県	-	-	-	-	-	94	-	11	-	-	-	-	-	2	-	-	-	10
千葉県	-	-	-	-	5	137	-	15	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13
東京都	-	-	-	-	1	294	-	79	-	-	-	-	-	4	-	-	-	93
神奈川県	-	-	-	-	1	158	1	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	47
新潟県	-	-	-	-	-	20	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
富山県	-	-	-	-	-	52	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
石川県	-	-	-	-	3	57	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	22
福井県	-	-	-	-	-	14	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	16	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
長野県	-	-	-	-	2	36	-	2	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4
岐阜県	-	-	-	-	-	33	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	35
静岡県	-	-	-	-	1	54	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	38
愛知県	-	-	-	-	3	228	-	19	-	-	-	-	-	-	-	-	-	29
三重県	-	-	-	-	-	49	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
滋賀県	-	-	-	-	-	37	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7
京都府	-	-	-	-	2	57	1	9	-	-	-	-	-	-	-	-	-	28
大阪府	-	-	-	-	3	337	-	50	-	-	-	-	-	1	-	-	1	96
兵庫県	-	-	-	-	-	183	1	34	-	-	-	-	-	-	-	-	3	99
奈良県	-	-	-	-	-	33	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
和歌山県	-	-	-	-	-	39	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
鳥取県	-	-	-	-	-	31	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	94	1	6	-	-	-	-	-	2	-	-	-	30
広島県	-	-	-	-	-	114	-	6	-	-	-	-	-	1	-	-	1	21
山口県	-	-	-	-	1	39	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
徳島県	-	-	-	-	1	11	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	32
香川県	-	-	-	-	-	25	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12
愛媛県	-	-	-	-	-	26	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	1	26
高知県	-	-	-	-	-	8	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
福岡県	-	-	-	-	-	313	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	44
佐賀県	-	-	-	-	3	52	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	2
長崎県	-	-	-	-	2	55	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
熊本県	-	-	-	-	-	36	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	18
大分県	-	-	-	-	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
宮崎県	-	1	-	-	-	46	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	16
鹿児島県	-	-	-	-	1	44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16
沖縄県	-	-	-	-	-	43	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数, 疾病・都道府県別

平成12年48週

	Q 熱		狂 犬 病		クリプトスボルジウム症		クロイツフェルト・ヤコブ病		劇症型溶血性レンサ球菌感染症		後天性免疫不全症候群		コクシジ オイデス症		ジアルジア症		腎症候性出血熱	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	3	19	-	-	-	3	1	90	-	43	7	700	-	1	1	85	-	-
北海道	-	7	-	-	-	-	-	2	-	1	-	7	-	-	-	2	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	3	7	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	-	-	1	-	-
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-
山形県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	4	-	-	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	44	-	-	-	2	-	-
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	18	-	-	-	-	-	-
群馬県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	9	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	3	-	33	-	-	-	6	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	2	-	3	-	3	-	53	-	-	-	3	-	-
東京都	-	-	-	-	-	1	-	12	-	7	6	285	-	1	-	16	-	-
神奈川県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	3	-	39	-	-	-	8	-	-
新潟県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	5	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	1	-	1	-	-	-	1	-	-
福井県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	13	-	-	-	3	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	7	-	-	1	1	-	-
静岡県	-	4	-	-	-	-	-	4	-	2	-	20	-	-	-	1	-	-
愛知県	-	1	-	-	-	-	-	8	-	3	-	24	-	-	-	3	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9	-	-	-	6	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-	-	1	-	2	1	46	-	-	-	12	-	-
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	9	-	5	-	17	-	-	-	7	-	-
奈良県	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	2	-	-	-	3	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	2	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	3	-	-	-	1	-	-
広島県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	1	-	2	-	-	-	-	-	-
山口県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	1	-	-
高知県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-
福岡県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	1	-	8	-	-	-	-	-	-
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	1	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-
鹿児島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	-	-

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年48週

	髄膜炎菌性 髄膜炎		先天性風疹 症候群		炭 疽		ツツガムシ病		デング熱		日本紅斑熱		日本脳炎		乳児 ボツリヌス症		梅 毒	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総 数	-	13	-	1	-	-	41	486	1	18	-	35	-	6	-	-	4	679
北海道	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
青森県	-	-	-	-	-	-	-	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	4
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-	-	13
宮城県	-	1	-	-	-	-	-	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
秋田県	-	-	-	-	-	-	-	48	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
山形県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
福島県	-	-	-	-	-	-	-	31	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
茨城県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
栃木県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
群馬県	-	-	-	-	-	-	3	15	-	1	-	-	-	-	-	-	-	2
埼玉県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	15
千葉県	-	2	-	-	-	-	1	22	-	-	-	9	-	-	-	-	-	20
東京都	-	1	-	-	-	-	3	12	1	12	-	-	-	-	-	-	2	107
神奈川県	-	1	-	-	-	-	7	39	-	-	-	-	-	-	-	-	-	31
新潟県	-	-	-	-	-	-	1	26	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
富山県	-	-	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
石川県	-	1	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
福井県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
長野県	-	1	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	-	-	-	-	-	6
岐阜県	-	-	-	-	-	-	3	20	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
静岡県	-	2	-	-	-	-	1	16	-	-	-	-	-	-	-	-	-	10
愛知県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	24
三重県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	11
京都府	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
大阪府	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	120
兵庫県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	6	-	-	-	-	-	41
奈良県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	10
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	4	-	-	-	-	-	5
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
島根県	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	10	-	-	-	-	-	3
岡山県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	17
広島県	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	-	-	-	-	-	9
山口県	-	-	-	-	-	-	1	3	-	-	-	-	2	-	-	-	-	28
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
香川県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
愛媛県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	11
高知県	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	3	-	1	-	-	-	3
福岡県	-	1	-	-	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	55
佐賀県	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
長崎県	-	-	-	-	-	-	-	18	-	-	-	-	1	-	-	-	-	2
熊本県	-	-	-	-	-	-	1	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	5
大分県	-	-	-	-	-	-	5	31	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
宮崎県	-	-	-	-	-	-	12	35	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
鹿児島県	-	1	-	-	-	-	2	44	-	-	-	3	-	-	-	-	-	11
沖縄県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2

第3101表 報告数・累積報告数，疾病・都道府県別

平成12年48週

	破傷風		バンコマイシン耐性腸球菌感染症		ハンタウイルス肺症候群		Bウイルス病		ブルセラ症		発疹チフス		マラリア		ライム病		レジオネラ症	
	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積	報告数	累積
総数	1	84	-	33	-	-	-	-	-	-	-	-	4	147	-	11	1	134
北海道	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	10	-	-
青森県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岩手県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
秋田県	-	-	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
山形県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	8
福島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	1
茨城県	-	1	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	28
栃木県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7	-	-	-	-	4
群馬県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	4	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	4
千葉県	-	3	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	5	-	-	-	-	3
東京都	-	7	-	6	-	-	-	-	-	-	-	-	2	61	-	-	-	8
神奈川県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-	-	2
新潟県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
富山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	3
石川県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
福井県	1	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	1
山梨県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
岐阜県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
静岡県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	29
愛知県	-	3	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	8	-	-	-	-	7
三重県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2	-	-	-	4
滋賀県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
京都府	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
大阪府	-	3	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	12	-	-	-	-	3
兵庫県	-	6	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	1	-	-	3
奈良県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-
島根県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
広島県	-	4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3	-	-	-	-	3
山口県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-	-	4
愛媛県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
高知県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	2
福岡県	-	2	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	4
佐賀県	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	3
熊本県	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	-
大分県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
宮崎県	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
鹿児島県	-	9	-	3	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2
沖縄県	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年48週

	インフルエンザ		咽頭結膜熱		A群溶血性 レンサ球菌咽頭炎		感染性胃腸炎		水痘		手足口病		伝染性紅斑		突発性発疹		百日咳	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	655	0.14	323	0.11	4146	1.39	21819	7.30	7042	2.36	2794	0.93	638	0.21	2276	0.76	31	0.01
北海道	4	0.02	8	0.06	277	1.91	605	4.17	538	3.71	26	0.18	39	0.27	74	0.51	-	-
青森県	4	0.06	1	0.02	37	0.90	219	5.34	223	5.44	55	1.34	7	0.17	19	0.46	-	-
岩手県	6	0.10	1	0.03	49	1.29	267	7.03	124	3.26	20	0.53	21	0.55	18	0.47	-	-
宮城県	9	0.09	3	0.05	151	2.56	967	16.39	224	3.80	132	2.24	32	0.54	58	0.98	-	-
秋田県	1	0.02	-	-	47	1.34	195	5.57	120	3.43	31	0.89	-	-	21	0.60	4	0.11
山形県	4	0.08	4	0.13	80	2.67	370	12.33	165	5.50	29	0.97	19	0.63	32	1.07	-	-
福島県	-	-	-	-	22	0.46	525	10.94	98	2.04	58	1.21	19	0.40	22	0.46	3	0.06
茨城県	2	0.02	2	0.03	108	1.50	394	5.47	170	2.36	19	0.26	11	0.15	30	0.42	-	-
栃木県	2	0.03	5	0.11	122	2.71	255	5.67	75	1.67	56	1.24	10	0.22	27	0.60	-	-
群馬県	9	0.09	4	0.06	126	2.03	352	5.68	168	2.71	6	0.10	6	0.10	47	0.76	-	-
埼玉県	152	0.60	16	0.10	356	2.25	1472	9.32	372	2.35	93	0.59	74	0.47	121	0.77	5	0.03
千葉県	20	0.10	14	0.11	210	1.58	710	5.34	251	1.89	216	1.62	49	0.37	104	0.78	-	-
東京都	23	0.13	8	0.06	83	0.58	840	5.92	170	1.20	59	0.42	45	0.32	62	0.44	-	-
神奈川県	38	0.12	12	0.06	195	0.95	1349	6.58	441	2.15	84	0.41	44	0.21	191	0.93	1	0.00
新潟県	10	0.10	19	0.32	195	3.25	578	9.63	294	4.90	59	0.98	3	0.05	52	0.87	-	-
富山県	1	0.02	-	-	70	2.41	243	8.38	80	2.76	38	1.31	2	0.07	19	0.66	1	0.03
石川県	1	0.02	1	0.03	37	1.28	372	12.83	72	2.48	62	2.14	17	0.59	22	0.76	-	-
福井県	2	0.06	7	0.32	20	0.91	202	9.18	99	4.50	44	2.00	3	0.14	12	0.55	-	-
山梨県	15	0.37	2	0.08	18	0.72	57	2.28	44	1.76	56	2.24	4	0.16	13	0.52	-	-
長野県	37	0.45	13	0.25	94	1.81	383	7.37	228	4.38	38	0.73	4	0.08	40	0.77	1	0.02
岐阜県	35	0.42	3	0.06	63	1.19	198	3.74	126	2.38	119	2.25	10	0.19	35	0.66	1	0.02
静岡県	19	0.14	42	0.49	83	0.97	648	7.53	189	2.20	142	1.65	17	0.20	95	1.10	1	0.01
愛知県	30	0.16	20	0.11	254	1.40	1252	6.88	418	2.30	496	2.73	58	0.32	155	0.85	2	0.01
三重県	6	0.09	2	0.04	64	1.42	424	9.42	122	2.71	55	1.22	1	0.02	71	1.58	-	-
滋賀県	3	0.07	-	-	44	1.47	112	3.73	70	2.33	8	0.27	4	0.13	25	0.83	-	-
京都府	42	0.33	1	0.01	57	0.75	794	10.45	91	1.20	41	0.54	6	0.08	41	0.54	-	-
大阪府	67	0.25	28	0.15	162	0.87	1120	5.99	265	1.42	54	0.29	16	0.09	133	0.71	2	0.01
兵庫県	22	0.11	15	0.12	109	0.86	1453	11.44	207	1.63	71	0.56	9	0.07	124	0.98	4	0.03
奈良県	1	0.02	1	0.03	47	1.34	225	6.43	89	2.54	16	0.46	2	0.06	26	0.74	-	-
和歌山県	7	0.14	2	0.06	48	1.55	112	3.61	78	2.52	12	0.39	2	0.06	31	1.00	-	-
鳥取県	1	0.04	6	0.32	114	6.00	266	14.00	45	2.37	31	1.63	-	-	25	1.32	-	-
島根県	1	0.03	7	0.30	17	0.74	92	4.00	53	2.30	24	1.04	3	0.13	14	0.61	-	-
岡山県	1	0.01	13	0.24	58	1.07	352	6.52	149	2.76	24	0.44	5	0.09	29	0.54	2	0.04
広島県	7	0.06	2	0.03	106	1.41	501	6.68	149	1.99	47	0.63	9	0.12	55	0.73	1	0.01
山口県	-	-	16	0.33	153	3.12	657	13.41	140	2.86	56	1.14	5	0.10	62	1.27	-	-
徳島県	10	0.26	6	0.26	17	0.74	82	3.57	56	2.43	18	0.78	3	0.13	13	0.57	-	-
香川県	1	0.02	-	-	14	0.44	135	4.22	44	1.38	39	1.22	3	0.09	25	0.78	-	-
愛媛県	2	0.03	4	0.10	54	1.38	277	7.10	84	2.15	44	1.13	1	0.03	45	1.15	1	0.03
高知県	-	-	2	0.06	33	1.06	110	3.55	33	1.06	12	0.39	1	0.03	11	0.35	-	-
福岡県	5	0.03	4	0.05	37	0.47	612	7.75	89	1.13	46	0.58	13	0.16	43	0.54	-	-
佐賀県	1	0.03	-	-	33	1.43	228	9.91	66	2.87	23	1.00	16	0.70	32	1.39	-	-
長崎県	-	-	2	0.05	34	0.77	258	5.86	75	1.70	14	0.32	6	0.14	29	0.66	-	-
熊本県	10	0.12	11	0.22	62	1.27	370	7.55	123	2.51	56	1.14	22	0.45	45	0.92	1	0.02
大分県	1	0.02	2	0.06	47	1.31	397	11.03	79	2.19	28	0.78	7	0.19	39	1.08	-	-
宮崎県	3	0.05	8	0.22	75	2.03	359	9.70	138	3.73	51	1.38	8	0.22	37	1.00	-	-
鹿児島県	34	0.35	6	0.10	57	0.95	400	6.67	80	1.33	12	0.20	1	0.02	34	0.57	1	0.02
沖縄県	6	0.10	-	-	7	0.21	30	0.88	28	0.82	74	2.18	1	0.03	18	0.53	-	-

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別

平成12年48週

	風 疹		ヘルパンギーナ		麻 疹 (成人麻疹を除く)		流行性耳下腺炎		急性出血性 結膜炎		流行性角結膜炎		急性脳炎 (日本脳炎を除く)		細菌性髄膜炎		無菌性髄膜炎	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総 数	37	0.01	400	0.13	230	0.08	4262	1.43	19	0.03	775	1.23	2	0.00	8	0.02	20	0.04
北海道	8	0.06	3	0.02	27	0.19	326	2.25	-	-	25	0.86	-	-	-	-	-	-
青森県	1	0.02	1	0.02	-	-	79	1.93	-	-	6	0.55	-	-	-	-	-	-
岩手県	2	0.05	1	0.03	-	-	13	0.34	3	0.25	13	1.08	-	-	-	-	-	-
宮城県	-	-	11	0.19	15	0.25	12	0.20	1	0.09	5	0.45	-	-	-	-	-	-
秋田県	-	-	1	0.03	-	-	9	0.26	-	-	8	1.14	-	-	-	-	-	-
山形県	-	-	3	0.10	-	-	15	0.50	1	0.13	4	0.50	-	-	-	-	-	-
福島県	-	-	6	0.13	1	0.02	32	0.67	-	-	17	1.42	-	-	-	-	-	-
茨城県	2	0.03	4	0.06	3	0.04	93	1.29	1	0.06	51	3.19	-	-	-	-	-	-
栃木県	2	0.04	-	-	1	0.02	26	0.58	-	-	24	2.00	-	-	1	0.17	-	-
群馬県	1	0.02	1	0.02	-	-	107	1.73	2	0.14	43	3.07	-	-	-	-	-	-
埼玉県	-	-	23	0.15	5	0.03	469	2.97	1	0.03	45	1.25	-	-	-	-	-	-
千葉県	1	0.01	2	0.02	2	0.02	313	2.35	-	-	55	1.57	-	-	1	0.08	1	0.08
東京都	3	0.02	9	0.06	6	0.04	160	1.13	1	0.07	26	1.86	-	-	1	0.04	2	0.08
神奈川県	5	0.02	5	0.02	12	0.06	388	1.89	-	-	60	1.43	-	-	-	-	2	0.18
新潟県	-	-	3	0.05	-	-	176	2.93	-	-	7	0.78	-	-	1	0.08	1	0.08
富山県	-	-	6	0.21	-	-	7	0.24	-	-	2	0.29	-	-	-	-	-	-
石川県	-	-	2	0.07	-	-	7	0.24	-	-	5	0.71	-	-	-	-	-	-
福井県	-	-	1	0.05	-	-	78	3.55	-	-	1	0.33	-	-	1	0.20	2	0.40
山梨県	1	0.04	-	-	2	0.08	11	0.44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
長野県	-	-	5	0.10	1	0.02	46	0.88	-	-	14	1.40	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	2	0.04	-	-	63	1.19	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
静岡県	1	0.01	8	0.09	3	0.03	180	2.09	-	-	8	0.40	-	-	-	-	-	-
愛知県	-	-	22	0.12	8	0.04	245	1.35	1	0.03	20	0.57	-	-	-	-	-	-
三重県	-	-	9	0.20	1	0.02	79	1.76	-	-	4	0.33	-	-	-	-	1	0.11
滋賀県	-	-	4	0.13	-	-	40	1.33	-	-	9	1.29	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	6	0.08	1	0.01	94	1.24	-	-	18	1.00	-	-	-	-	1	0.17
大阪府	2	0.01	62	0.33	7	0.04	239	1.28	2	0.04	40	0.80	-	-	-	-	-	-
兵庫県	-	-	7	0.06	1	0.01	144	1.13	-	-	32	0.91	-	-	-	-	-	-
奈良県	1	0.03	12	0.34	50	1.43	35	1.00	-	-	10	1.11	-	-	-	-	-	-
和歌山県	-	-	16	0.52	3	0.10	11	0.35	-	-	2	0.50	-	-	-	-	-	-
鳥取県	-	-	1	0.05	1	0.05	20	1.05	-	-	-	-	-	-	1	0.20	4	0.80
島根県	-	-	1	0.04	1	0.04	42	1.83	-	-	3	1.00	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	7	0.13	-	-	20	0.37	-	-	14	1.17	-	-	-	-	-	-
広島県	1	0.01	7	0.09	1	0.01	63	0.84	-	-	21	1.05	1	0.05	-	-	2	0.10
山口県	-	-	9	0.18	9	0.18	131	2.67	3	0.33	13	1.44	-	-	-	-	-	-
徳島県	-	-	5	0.22	-	-	5	0.22	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
香川県	-	-	4	0.13	-	-	26	0.81	-	-	2	0.67	-	-	-	-	-	-
愛媛県	-	-	49	1.26	-	-	19	0.49	-	-	13	1.86	-	-	-	-	-	-
高知県	1	0.03	15	0.48	20	0.65	10	0.32	-	-	8	2.67	-	-	-	-	-	-
福岡県	-	-	5	0.06	7	0.09	65	0.82	-	-	21	1.17	-	-	1	0.07	-	-
佐賀県	-	-	3	0.13	1	0.04	56	2.43	-	-	5	1.25	-	-	-	-	-	-
長崎県	-	-	2	0.05	-	-	49	1.11	2	0.25	30	3.75	-	-	-	-	-	-
熊本県	-	-	10	0.20	1	0.02	160	3.27	-	-	27	3.00	1	0.07	-	-	3	0.20
大分県	-	-	22	0.61	15	0.42	46	1.28	-	-	2	0.40	-	-	-	-	-	-
宮崎県	1	0.03	10	0.27	-	-	18	0.49	1	0.25	20	5.00	-	-	1	0.14	-	-
鹿児島県	-	-	14	0.23	5	0.08	18	0.30	-	-	8	1.33	-	-	-	-	-	-
沖縄県	4	0.12	1	0.03	20	0.59	17	0.50	-	-	20	2.00	-	-	-	-	1	0.14

第3102表 報告数・定点当り報告数, 疾病・都道府県別 平成12年48週

	マイコプラズマ肺炎		クラミジア肺炎 (オウム病を除く)		成人麻疹	
	報告数	定点当り	報告数	定点当り	報告数	定点当り
総数	95	0.21	1	0.00	4	0.01
北海道	2	0.09	-	-	-	-
青森県	-	-	-	-	-	-
岩手県	4	0.20	-	-	-	-
宮城県	16	1.33	-	-	-	-
秋田県	7	0.88	-	-	-	-
山形県	1	0.11	-	-	-	-
福島県	2	0.29	-	-	-	-
茨城県	-	-	-	-	-	-
栃木県	1	0.17	-	-	-	-
群馬県	2	0.20	-	-	-	-
埼玉県	-	-	-	-	-	-
千葉県	-	-	-	-	-	-
東京都	-	-	-	-	-	-
神奈川県	-	-	-	-	1	0.09
新潟県	-	-	-	-	-	-
富山県	-	-	-	-	-	-
石川県	3	0.60	-	-	-	-
福井県	1	0.20	-	-	-	-
山梨県	6	0.60	-	-	-	-
長野県	-	-	-	-	-	-
岐阜県	-	-	-	-	-	-
静岡県	2	0.22	1	0.11	-	-
愛知県	2	0.15	-	-	-	-
三重県	-	-	-	-	-	-
滋賀県	-	-	-	-	-	-
京都府	-	-	-	-	-	-
大阪府	-	-	-	-	-	-
兵庫県	2	0.14	-	-	1	0.07
奈良県	6	1.00	-	-	-	-
和歌山県	2	0.18	-	-	-	-
鳥取県	5	1.00	-	-	-	-
島根県	-	-	-	-	-	-
岡山県	-	-	-	-	-	-
広島県	10	0.48	-	-	-	-
山口県	1	0.13	-	-	-	-
徳島県	3	0.50	-	-	-	-
香川県	-	-	-	-	-	-
愛媛県	4	0.67	-	-	-	-
高知県	2	0.29	-	-	1	0.14
福岡県	1	0.07	-	-	-	-
佐賀県	2	0.33	-	-	-	-
長崎県	-	-	-	-	-	-
熊本県	1	0.07	-	-	1	0.07
大分県	-	-	-	-	-	-
宮崎県	2	0.29	-	-	-	-
鹿児島県	4	0.33	-	-	-	-
沖縄県	1	0.14	-	-	-	-

感染症週報 第2巻、第48号 平成12年12月15日発行
 発行：国立感染症研究所
 厚生省保健医療局結核感染症課
 厚生省大臣官房統計情報部
 事務局：国立感染症研究所感染症情報センター
 〒162-8640東京都新宿区戸山1-23-1
 T E L : 03-5285-1111
 F A X : 03-5285-1129
 U R L : <http://idsc.nih.go.jp/index-j.html>
 <国立感染症研究所 感染症情報センター>
<http://www.mhw.go.jp/>
 <厚生省>
<http://www.forth.go.jp/>
 <旅行者のための海外感染症情報(厚生省検疫所)>

本週報は、感染症新法に基づくものであり、全国の医療従事者、定点医療機関、保健所、保健所設置市、特別区、都道府県、地方衛生研究所、検疫所の皆様のご協力を得て、国立感染症研究所感染症情報センターにおいて編集したものです。

また、本週報は速報性を重視しておりますので、今後調査などの結果に応じて、若干の変更が生じることがありますが、その場合には週報上にて訂正させていただきます。

「感染症の話」及び「読者のコーナー」の回答欄の内容に関する責は、それぞれの執筆者及び回答者に属しますが、内容に関するご質問、ご意見については事務局でお受けいたします。

なお、週報の内容について、学術的研究、あるいは公衆衛生活動にかかわる業務以外の目的においては、無断転載を禁じます。